

第3章 相生市における公共交通の現状

3-1 市内を運行する公共交通

本市の公共交通はバス交通が主体となっており、バス路線を補完する目的として、民間タクシー会社の協力のもと、デマンドタクシー事業を実施しています。

また、本市外への移動については、JR 相生駅を起点とする鉄道路線（在来線、新幹線）が主な移動手段となっています。

特にバス路線については、市民の交通の足としての機能を担っており、本市内の公共交通の形成に関しては、バス路線の維持・確保が重要となっています。

このことから、本市の公共交通については、バス路線を維持・確保することを前提として、現状のバス路線を中心とした公共交通網を活用した公共交通施策の実現を図ることとします。

【公共交通状況図】

相生市公共交通

鉄道

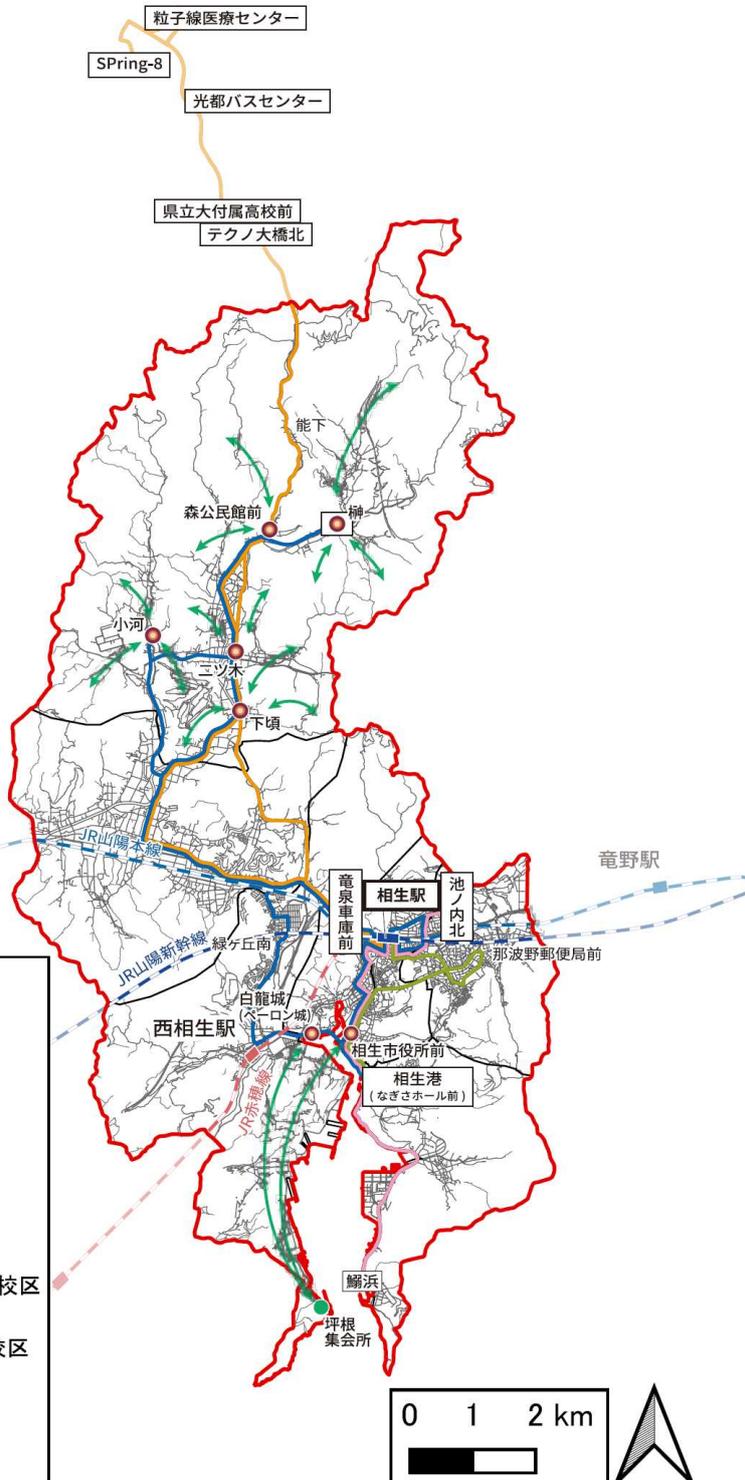
- JR山陽新幹線
- 駅(JR山陽新幹線)
- JR山陽本線
- 駅(JR山陽本線)
- JR赤穂線
- 駅(JR赤穂線)

ウイング神姫
バス路線

- 相生駅～那波野線
- 相生駅～相生港線
- 相生駅～緑ヶ丘線
(榊線含む)
- 相生駅～テクノ線

デマンドタクシー

- 指定バス停



3-2 道路網、交通連結状況

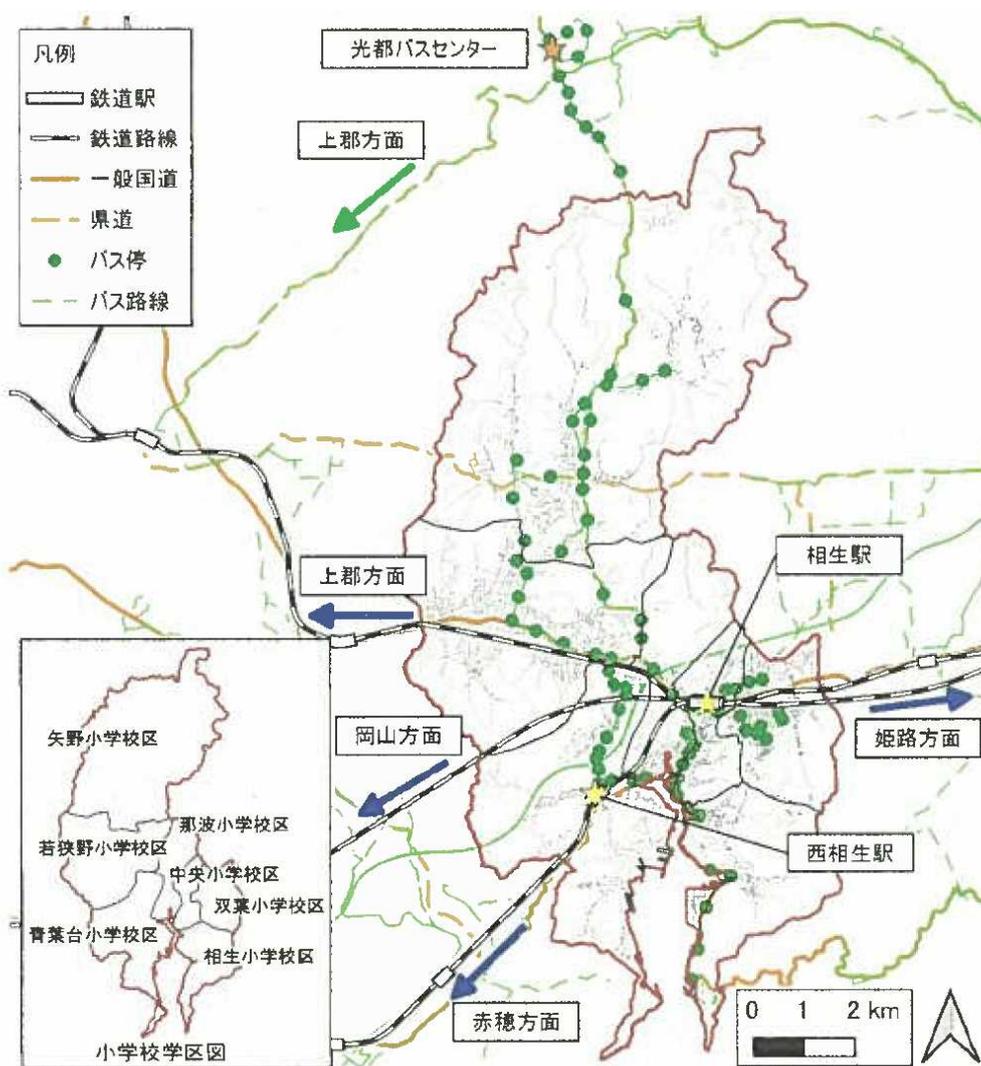
本市には、JR 山陽本線、JR 赤穂線、JR 山陽新幹線、国道 2 号、国道 250 号、山陽自動車道及び主要地方道姫路上郡線、主要地方道相生穴栗線が整備されています。

山陽自動車道、国道 2 号は、京阪神と中国、九州を結ぶ大動脈として、また、国道 250 号は、姫路～赤穂間の臨海部を結ぶ路線として、さらに主要地方道姫路上郡線、主要地方道相生穴栗線が広域道路網体系の骨格路線として重要な役割を果たしています。

また、鉄道駅は JR 相生駅と JR 西相生駅の 2 駅が立地しています。

バス路線は、JR 相生駅と市内の各所を結ぶ路線があるほか、市北部の光都バスセンターからは上郡方面と結ぶ路線があります。

【道路網、交通連結状況図】



3-3 鉄道の現状

(1)相生市における鉄道の概要

本市の鉄道は、市南部を横断するかたちで JR 山陽新幹線と JR 山陽本線、JR 赤穂線が運行しています。

市の南部に位置する JR 相生駅は JR 赤穂線の起点として周辺交通への拠点となるだけでなく、新幹線の停車駅として広域交通の要衝地にもなっています。

市内には、令和4年4月時点で JR 相生駅、JR 西相生駅の2駅があり、JR 相生駅では JR 相生駅以東へ向かう便が 5 時 30 分頃から 23 時頃にかけて在来線で 43 本/日、新幹線で 25 本/日、JR 相生駅以西に向かう便が 6 時頃から 0 時 30 分頃にかけて 28 本/日、新幹線で 27 本/日運行しています。

また、JR 西相生駅では JR 西相生駅以東へ向かう便が 6 時頃から 23 時頃にかけて 28 本/日、JR 西相生駅以西に向かう便が 6 時 30 分頃から 0 時頃にかけて 29 本/日が運行しています。

【鉄道の概要】

<凡例>

相生市公共交通

鉄道

- JR 山陽新幹線
- 駅 (JR 山陽新幹線)
- JR 山陽本線
- 駅 (JR 山陽本線)
- JR 赤穂線
- 駅 (JR 赤穂線)

【JR山陽新幹線】

6:21~22:34 25本/日 1時間に1~2本	6:21~22:35 25本/日 1時間に1~2本
---------------------------------	---------------------------------

岡山方面 ← 相生駅 → 姫路方面

6:46~23:14 27本/日 1時間に1~3本	6:46~23:13 27本/日 1時間に1~2本
---------------------------------	---------------------------------

【JR山陽本線】

5:22~22:52 35本/日 1時間に1~3本	5:22~22:52 43本/日 1時間に1~4本
---------------------------------	---------------------------------

上郡方面 ← 相生駅 → 姫路方面

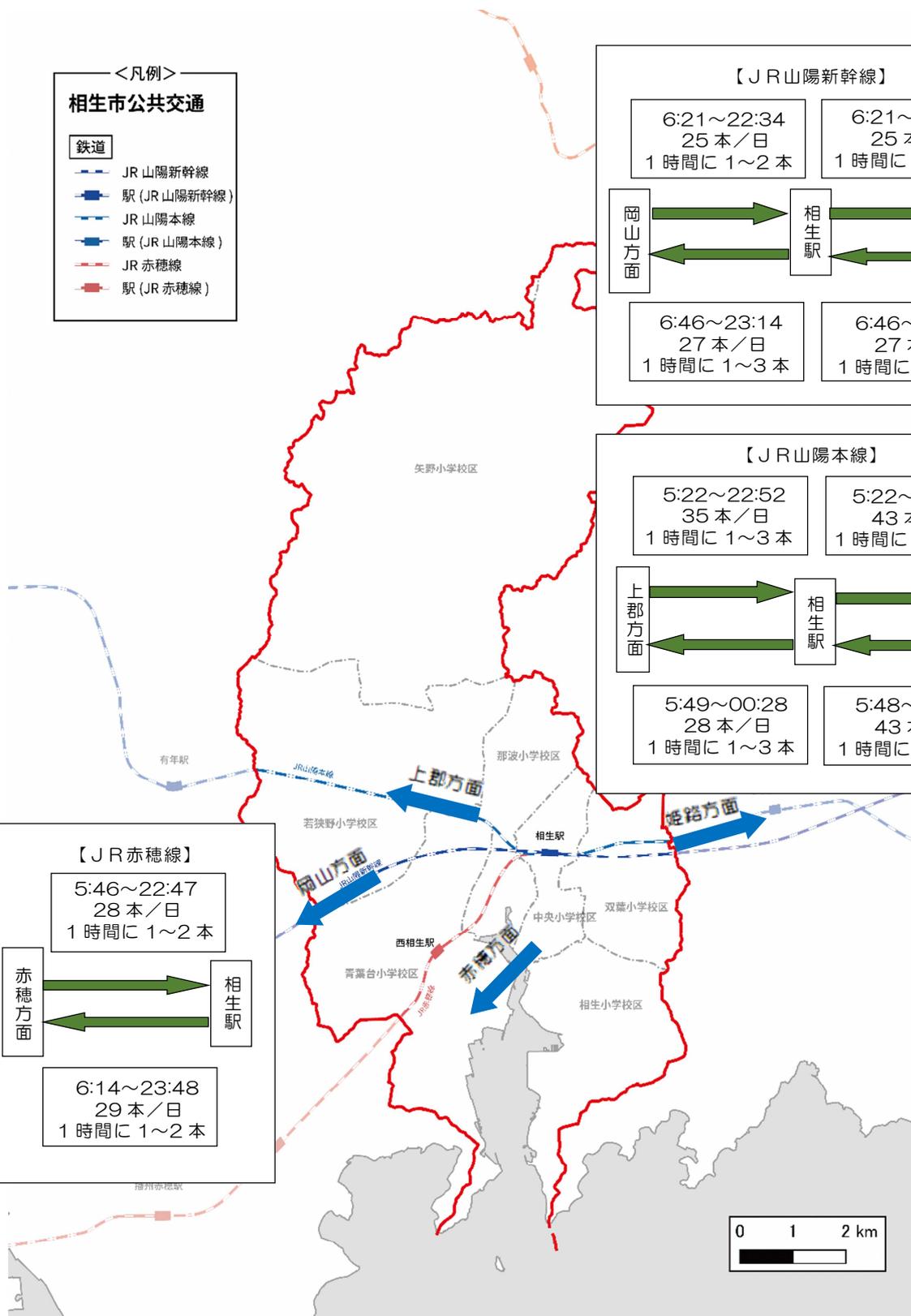
5:49~00:28 28本/日 1時間に1~3本	5:48~00:28 43本/日 1時間に1~4本
---------------------------------	---------------------------------

【JR赤穂線】

5:46~22:47 28本/日 1時間に1~2本

赤穂方面 ← 相生駅

6:14~23:48 29本/日 1時間に1~2本



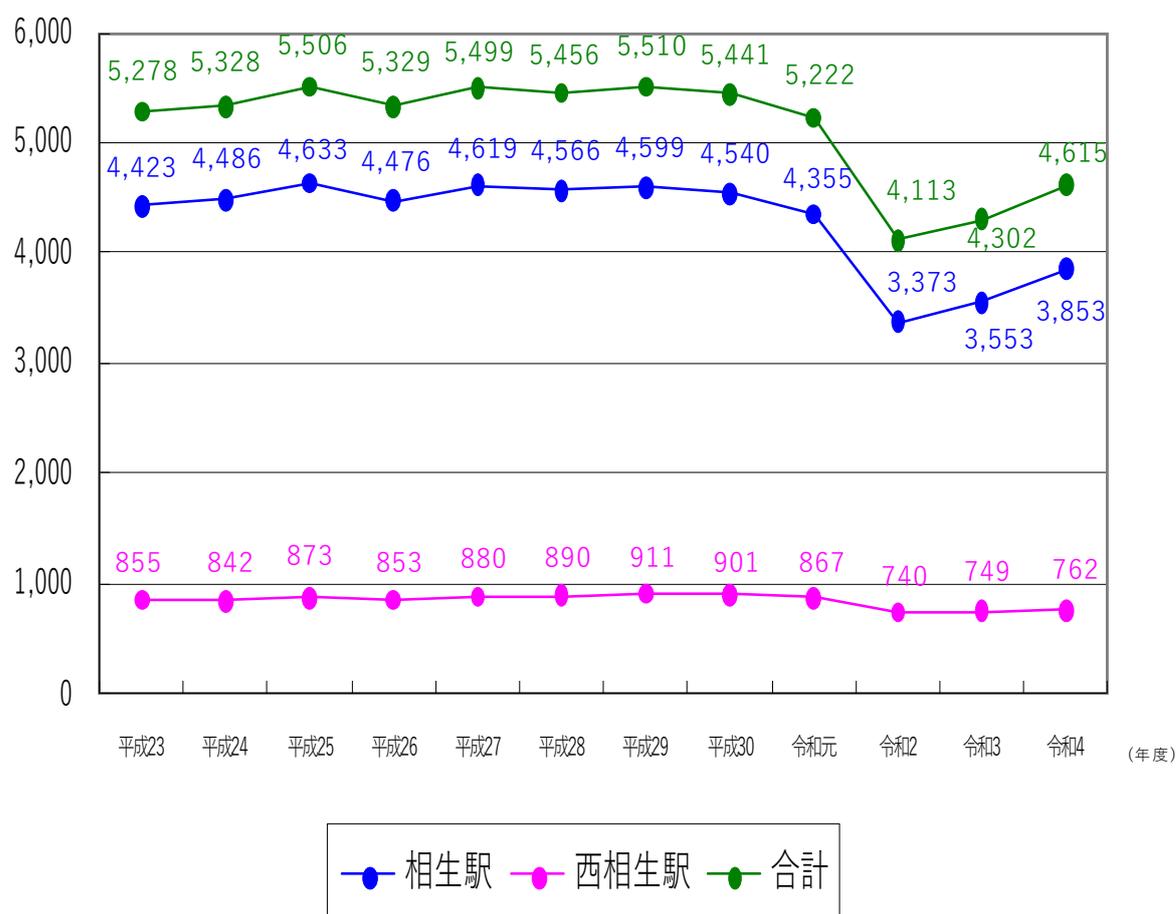
(2) 鉄道乗車人員の推移

JR 相生駅及び JR 西相生駅の乗車人員は平成 23 年度～令和元年度まではほぼ横ばいで推移しており、令和元年度は JR 相生駅では 4,355 人/日、JR 西相生駅では 867 人/日であり、合計で 5,222 人/日の乗車人員となっています。

しかし、令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響による不要不急の外出自粛や緊急事態宣言の発令、生活様式の変化などに伴い、JR 相生駅、JR 西相生駅ともに乗車人員が令和元年度比で約 1 割～2 割減少しており、令和 4 年度では、JR 相生駅で 3,853 人/日、JR 西相生駅では 762 人/日であり、合計で 4,615 人/日となっています。

【JR 乗車人員】

(人/日)



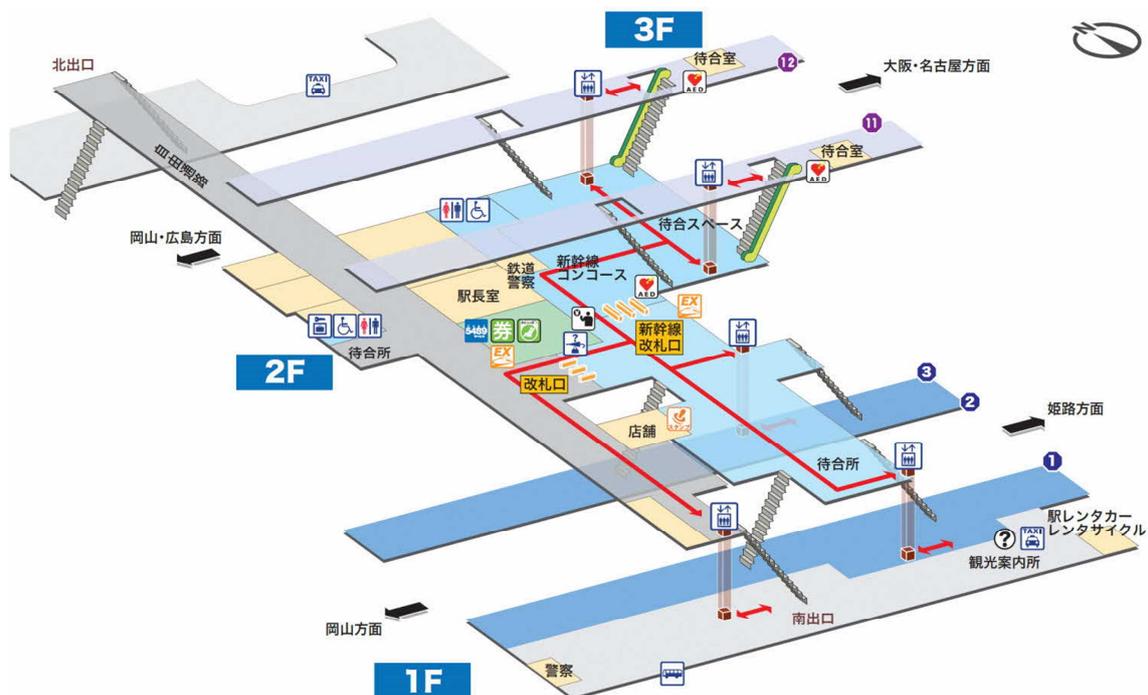
出典：兵庫県統計書

(3) 利用環境

JR 相生駅の利用環境については、バリアフリー経路が確保されているほか、触知型案内板の設置やトイレのバリアフリー化もなされています。

JR 相生駅の利用環境については以下の通りです。

【JR 相生駅構内図（赤矢印はバリアフリー経路）】



出典：JR おでかけネット

【JR 相生駅利用環境一覧】

南口	歩行者動線	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 県道 64 号相生停車場線から、相生駅南口ロータリー歩道を経由し、駅入口に至る。 ◆ 歩道から駅入口まで連続した点字ブロックあり。
	バス利用者動線	<ul style="list-style-type: none"> ◆ バスロータリーにバス乗車場 3 箇所、降車場 1 箇所あり。 ◆ 歩道から乗降場所まで連続した点字ブロックあり。 ◆ 連続した上屋あり。 ◆ バス乗り場案内板あり。 ◆ バスロータリーの乗り場近傍にバス案内所（あいおい情報ラウンジ内）あり。
	タクシー・マイカー利用者動線	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 乗用車用ロータリー内に、タクシー乗降場、自家用車乗降場あり。 ◆ 歩道から各乗降場所まで連続した点字ブロックあり。 ◆ 各乗降場所は歩道が切り下げられ、車いすでアクセスできる。 ◆ 各乗降場所に上屋あり。
	入口の動線	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 階段あり。エレベーターなし。 ◆ 歩道上にエレベーターあり。 ◆ 歩道からエレベーターまで連続した点字ブロックあり。 ◆ エレベーターは出入口 2 箇所（直角方向）のウォークスルー型 ◆ エレベーター内に手すり、低い位置の操作盤あり。操作盤に点字表示あり。
北口	歩行者動線	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 国道 2 号南側歩道から階段で駅入口に至る。 ◆ 国道 2 号北側歩道から跨線橋（スロープ併設）を経由し、駅入口に至る。 ◆ エレベーター、エスカレーターなし。 ◆ 跨線橋に連続した点字ブロックなし。 ◆ 国道 2 号歩道に連続した点字ブロックなし。
	タクシー・マイカー利用者動線	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 国道 2 号北側に隣接する乗用車用ロータリー内に、タクシー乗降場、自家用車乗降場あり。 ◆ ロータリーに点字ブロック、上屋なし。

南北自由道路	主な施設	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 切符売場 ◆ 売店 ◆ 待合室 ◆ コインロッカー ◆ トイレ（男女別トイレ・多機能トイレ） ◆ 駅構内に関する触知案内板
	トイレの詳細	<p>[トイレ入口]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ トイレ設備に関する触知案内板 <p>[男子トイレ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 洋室便房 2 室（うち 1 室にベビーチェア設置）、小便器 3 器、手洗い 2 器 <p>[女子トイレ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 洋室便房 2 室（ベビーチェア設置）、手洗い 2 器 <p>[バリアフリートイレ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 手すり付き洋室便器、オストメイト、ベビーベッド、ベビーチェア、着替え台、手洗い、呼び出しボタン
在来線	コンコース	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 連続した点字ブロックあり。 ◆ 各種表示は日英 2 か国語表記 ◆ エスカレーターなし。エレベーターあり。 ◆ エレベーターは出入口 2 箇所（直線方向）のウォークスルー型 ◆ エレベーター内に手すり、低い位置の操作盤あり。操作盤に点字表示あり。 ◆ 改札内にトイレなし。（自由通路のトイレを使用）
	ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1～3 番線（うち 1 番線はラッシュ時のみ） ◆ ホーム上に内方線付き点字ブロックあり。 ◆ ホーム辺縁部に警戒色の着色あり。
新幹線	コンコース	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 連続した点字ブロックあり。 ◆ 各種表示は日英 2 か国語表記 ◆ 待合所あり。 ◆ エスカレーターあり。エレベーターあり。 ◆ エレベーターは出入口 2 箇所（直線方向）のウォークスルー型 ◆ トイレあり。 ◆ AED あり。
	ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 11～12 番線 ◆ ホーム上に内方線付き点字ブロックあり。

3-4 バスの現状

(1) 相生市におけるバスの概要

本市のバス交通は、令和6年10月時点で株式会社ウイング神姫による路線バスが4路線、17系統を運行しており、市内に71箇所のバス停があります。

運行経路の中心地は相生駅となっており、そこを起点として那波野地区方面、相生港方面、緑ヶ丘地区経由での若狭野地区、矢野地区方面、播磨科学公園都市方面の各路線を結んでいます。

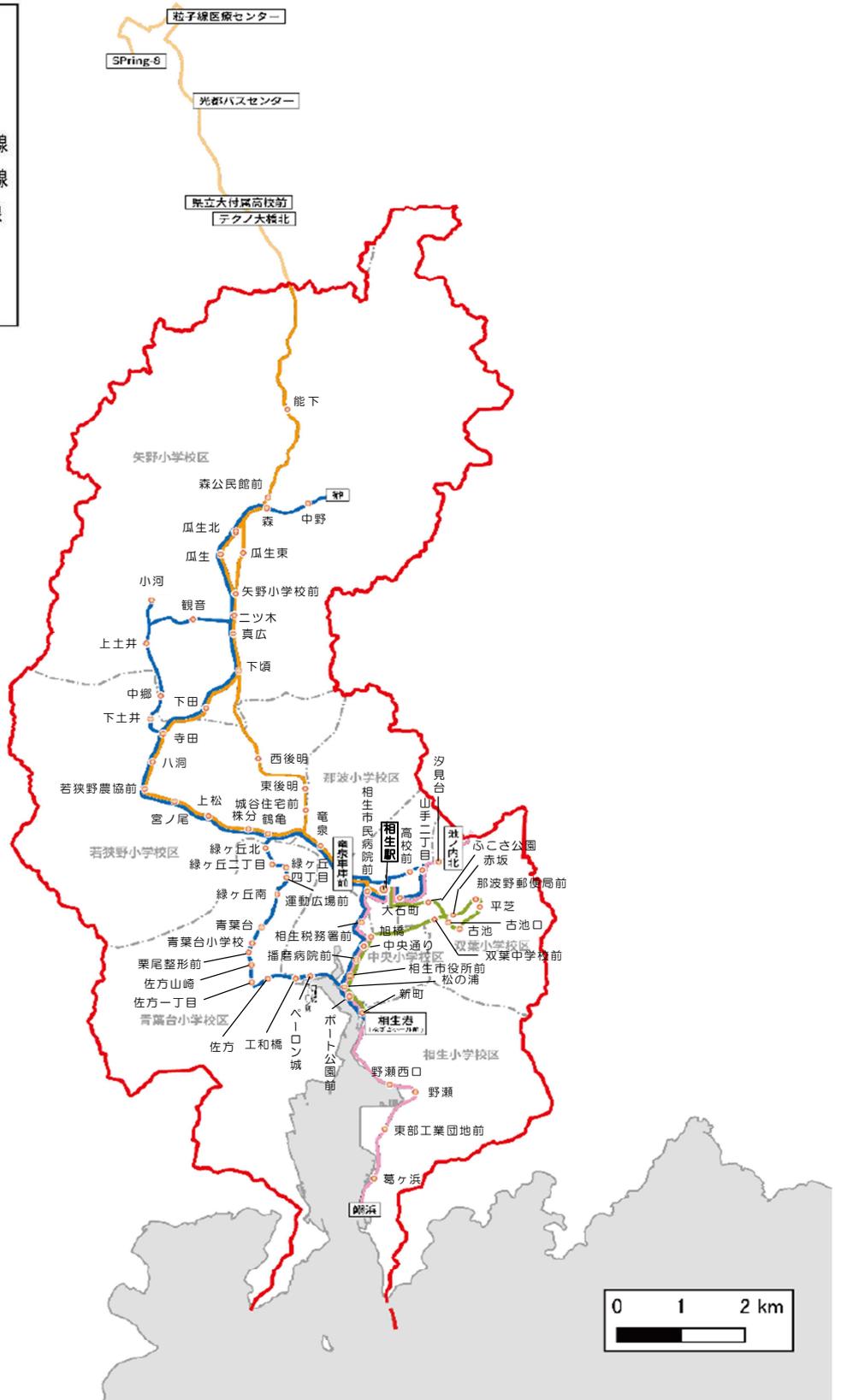
【本市内を運行する路線バスの概要】

路線	系統	運行日	便数	運賃
相生駅～相生港線	3本	毎日	平日 11本 休日 3本	210円～490円 ※小人は半額
相生駅～緑ヶ丘線 (榊線を含む)	6本 (榊線4本)	毎日	平日 13本 休日 8本	210円～580円 ※小人は半額
相生駅～那波野線	1本	毎日	平日 2本 休日 5本	210円～260円 ※小人は半額
相生駅～テクノ線	7本	毎日	平日 67本 休日 28本	210円～780円 ※小人は半額

【相生市におけるバス路線網】

相生市公共交通
ウイング神姫
バス路線

- 相生駅～那波野線
- 相生駅～相生港線
- 相生駅～緑ヶ丘線
(榊線含む)
- 相生駅～テクノ線
- バス停留所



(2) 路線バス乗車人員の推移

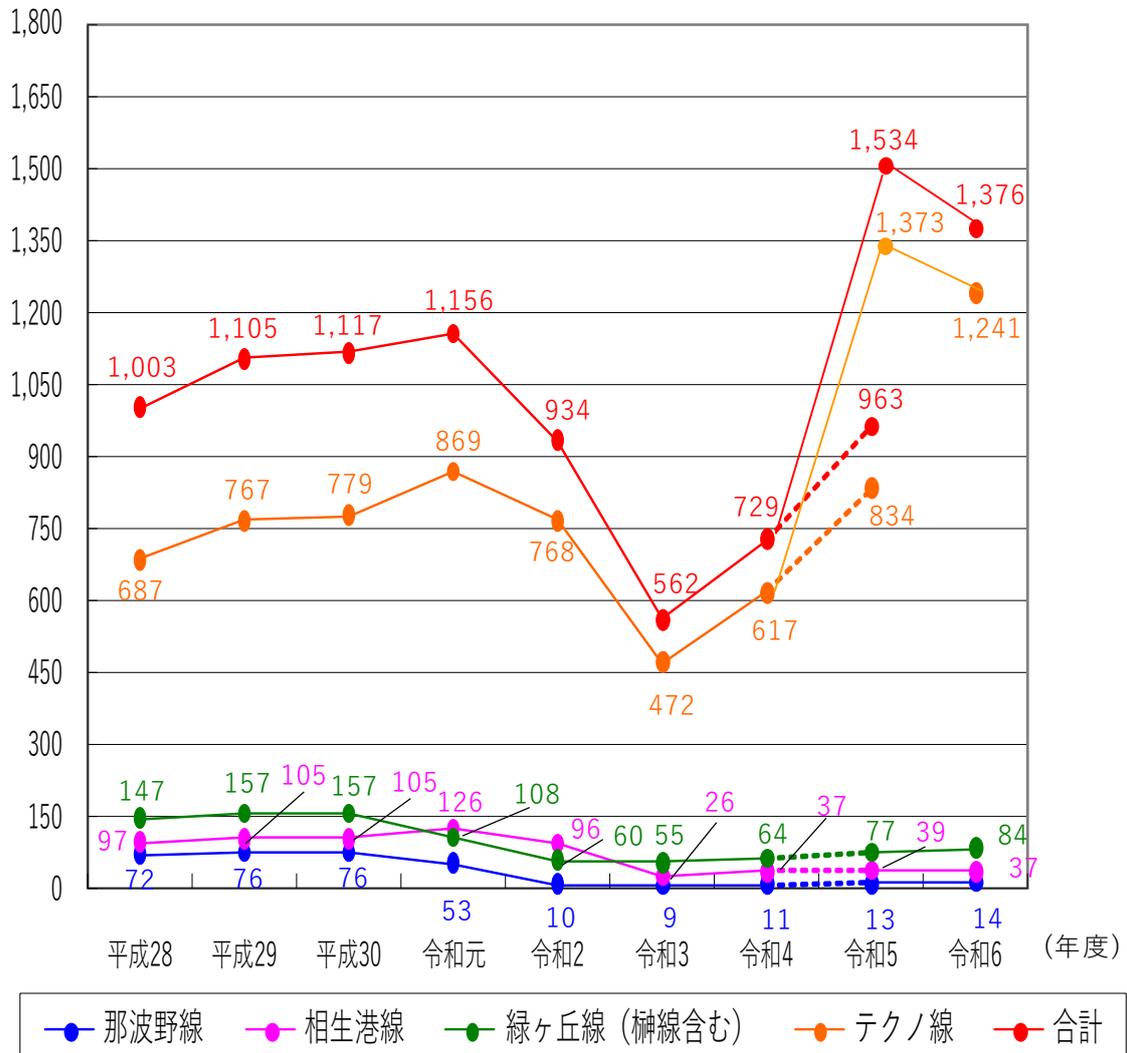
乗車人員については、平成28年度～令和元年度は1,000人/日以上で毎年増加傾向となっていました。新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度から乗車人員が減少傾向となり、複数回の緊急事態宣言が発令された令和3年度は562人/日でコロナ禍前の約半数となりました。その後、乗車人員は回復傾向にありましたが、令和6年4月よりバス路線の編成があったことにより、直近の令和6年度の乗車人員は令和5年度と比較して減少しています。

(乗車人員の測定方法については、令和5年度分より紙式定期券の測定方法を変更したことにより、令和4年度までの乗車人員と比較して大幅に増加しています。令和5年度における前年度対比の割合は令和4年度までの算出方法である旧測定方法にて算出した乗車人員を対象としています。)

なお、新測定方法にて算出した各路線の令和5年度における乗車人員は那波野線17人/日、相生港線51人/日、緑ヶ丘線(榊線含む)93人/日、テクノ線1,373人/日、合計1,534人/日となります。)

【路線バス乗車人員の推移】

(人/日)



出典：株式会社ウイング神姫資料、相生市資料

※年度は前年度の10月～当年度の9月の期間を集計

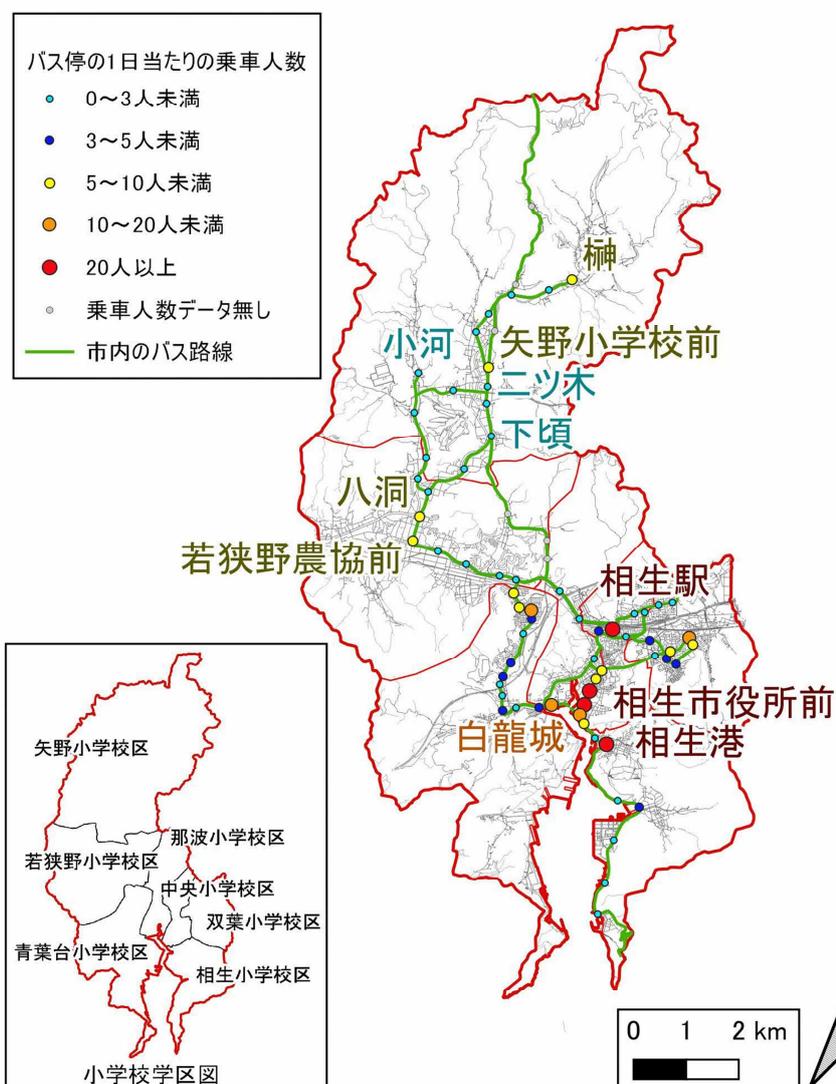
※令和4年度までは旧測定方法、令和5年度からは新測定方法にて乗車人員を測定。点線部分は、旧測定方法にて算出した実績値

(3) バス停区間別乗車人数

相生駅～相生港の区間で乗車人数が特に多くなっています。矢野小学校区及び若狭野小学校区、青葉台小学校区では、1日あたりの乗車人数が少ないバス停が多く見られますが、榊、矢野小学校前、八洞、若狭野農協前など比較的乗車人数の多いバス停も点在しています。

矢野小学校区のデマンドタクシーの拠点となっているバス停をみると、榊では1日あたり5～10人未満の乗車人数ですが、二ツ木、下頃、小河では1日あたり3人未満の乗車人数となっています（森公民館前は乗車人数のデータ無し）。

【バス停区間別乗車人数】



出典：株式会社ウイング神姫資料

乗車人数は令和4年6月6日～6月10日までの5日間の平均値

(4) 路線バス収支率の推移

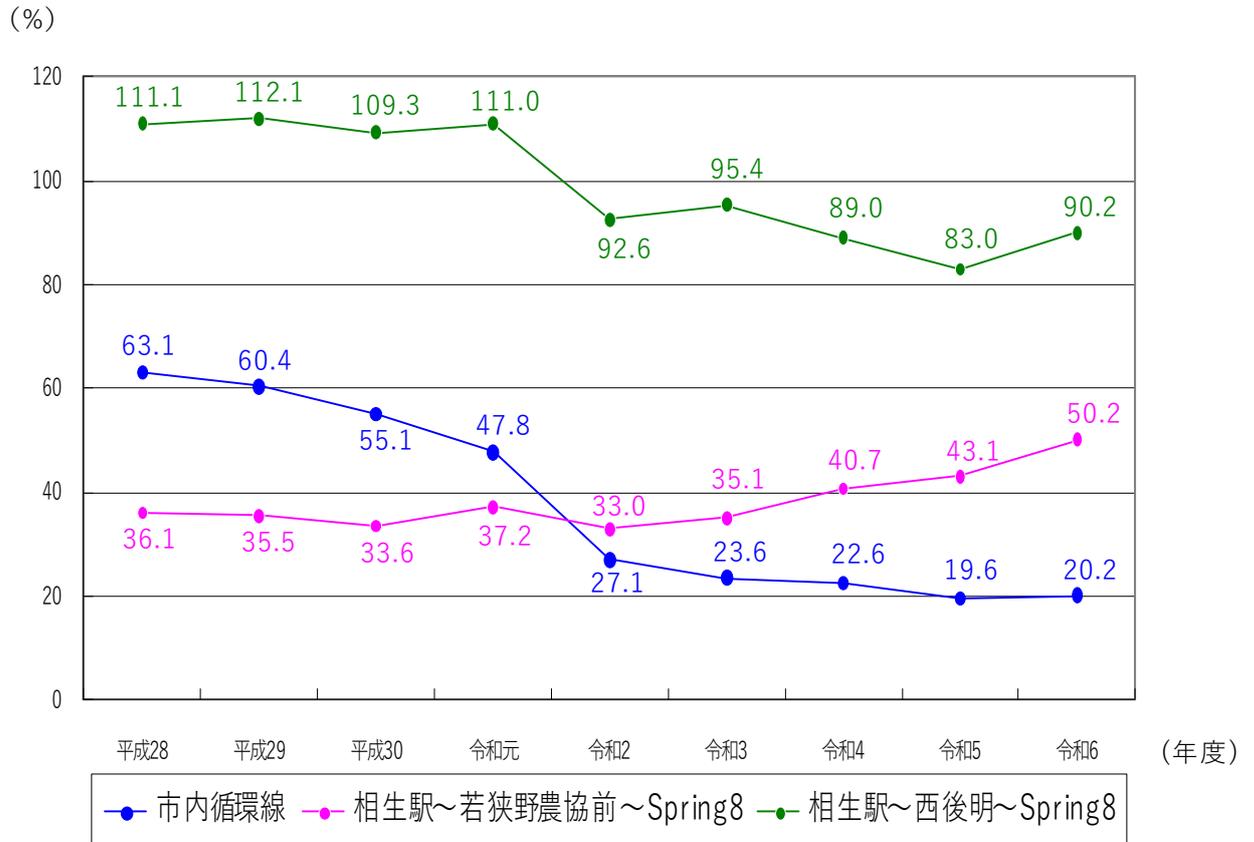
本市における路線バスは路線の維持・確保を行うために、赤字額を上限として市内循環線（相生駅～相生港線、相生駅～那波野線、相生駅～緑ヶ丘線（榊線を含む））に対して運行支援を行っています。また、相生駅～テクノ線については、通勤・通学等の路線確保のため、令和7年度以降に相生駅～若狭野農協前～Spring8系統、令和8年度以降相生駅～西後明～Spring8系統に関して兵庫県及び国の補助金活用を行う事で路線の維持・確保を図る予定となっています。

運行支援を行っている市内循環線の収支率^{※3}はコロナ禍前は50%以上を維持していましたが、直近の令和6年度は20.2%となっており、コロナ禍における生活様式の変化や外出自粛の影響が見てとれます。また、平成28年度～令和元年度及び令和4年度～令和5年度については乗車人員は増加となっていますが、人件費の増加や燃料高騰等による運行経費の増加により、収支率は減少していましたが、令和6年度は路線編成の影響などもあり、収支率には若干の改善が見られます。

運行支援を予定しているテクノ線各系統の収支率は、JA兵庫西経由の系統は路線の編成などにより改善傾向にありますが、約50%の状態となっています。また、西後明経由の系統はコロナ禍前は黒字を維持していましたが、コロナ禍による外出制限や生活様式の変化により、令和2年度以降は赤字となっていますが、この路線も路線の編成の影響などで直近の令和6年度は収支率の改善が見られ、約90%の収支率となっています。

※3 バスの運行経費（人件費、燃料費、車両修繕費、車両償却費、利子、諸経費等）に対する運賃等（運賃収入、広告収入、協賛金）の割合

【路線バス収支率の推移】



出典：株式会社ウイング神姫資料

※年度は前年度の10月～当年度の9月の期間を集計

3-5 タクシーの現状

(1) 相生市におけるタクシーの概要

本市におけるタクシーは、鉄道やバスと同様に、自身で車を運転しづらい人に対する日常的な交通手段として重要な交通機関となっています。特に乗り合いの交通機関では困難なドア・ツー・ドアでの移動が可能であり、高齢者や障害のある人をはじめとした人への輸送機関としての役割を担っています。

本市においてはそのような役割以外にも、デマンドタクシー事業を実施することによりバス路線を補完する交通手段として、自宅から最寄りの指定バス停までの運行を行っています。

本市内に営業所があるタクシー事業者は2社あり、両社とも本市の運行するデマンドタクシーの委託事業者となっています。

【タクシー会社の概要】

事業者名	所在地	所有台数
相生タクシー株式会社	相生市陸本町 11 番 28 号	16 台
相生神姫第一交通株式会社	相生市大島町 11 番 29 号	16 台

(2) タクシー輸送回数及び輸送人員

タクシーの輸送回数及び輸送人員については、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令された令和3年には出控えの影響を受け、輸送人員の減少が見られましたが、令和4年以降は輸送回数、輸送人員ともに令和3年と比較して増加傾向にあります。

【タクシー輸送回数及び輸送人員】

		相生タクシー株式会社	相生神姫第一交通株式会社	合計
令和3年	輸送回数	29,431 回	54,970 回	84,401 回
	輸送人員	40,788 人	79,710 人	120,498 人
令和4年	輸送回数	37,305 回	55,426 回	92,731 回
	輸送人員	53,726 人	82,518 人	136,244 人
令和5年	輸送回数	47,298 回	43,255 回	90,553 回
	輸送人員	68,671 人	68,326 人	136,997 人
令和6年	輸送回数	47,611 回	50,533 回	98,144 回
	輸送人員	66,845 人	75,611 人	142,456 人

(3) デマンドタクシーの概要

本市では、バス停から遠方に住んでいる市民が多くいる矢野地区と坪根地区において交通弱者の救済や地域の活性化を図るため、デマンドタクシーの運行を実施しています。

デマンドタクシーは事前に予約することで、自宅から指定バス停まで運行を行うことにより路線バスとの連携を図り、本市の外出支援策の一端を担っています。

【デマンドタクシーの概要】

事業者	相生市
運行業者	相生タクシー(株)、相生神姫第一交通(株)
運行対象者	矢野地区、坪根地区に住所を有する者
運行範囲	矢野地区：自宅から最寄りの指定バス停まで 坪根地区：自宅（坪根集会所）から指定バス停まで
運行時間	矢野地区：終日（路線バス運行時間内に限る。） 坪根地区：午前6時～午後8時
利用方法	事前登録制で、利用時刻の1時間前までに予約が必要
利用料金	矢野地区：1回あたり100円 坪根地区：1回あたり300円

【指定バス停一覧】

地区	路線	住所	指定バス停
矢野地区	榊線	榊、金坂、釜出	榊
		瓜生、上、菅谷、二木、真広	二ツ木
		上土井、小河	小河
	テクノ線	森、中野、金坂、釜出、榊、能下	森公民館前
		瓜生、上、菅谷、二木、真広、上土井、小河	二ツ木
下田		下頃	
坪根地区	—	坪根	ペーロン城、相生市役所前

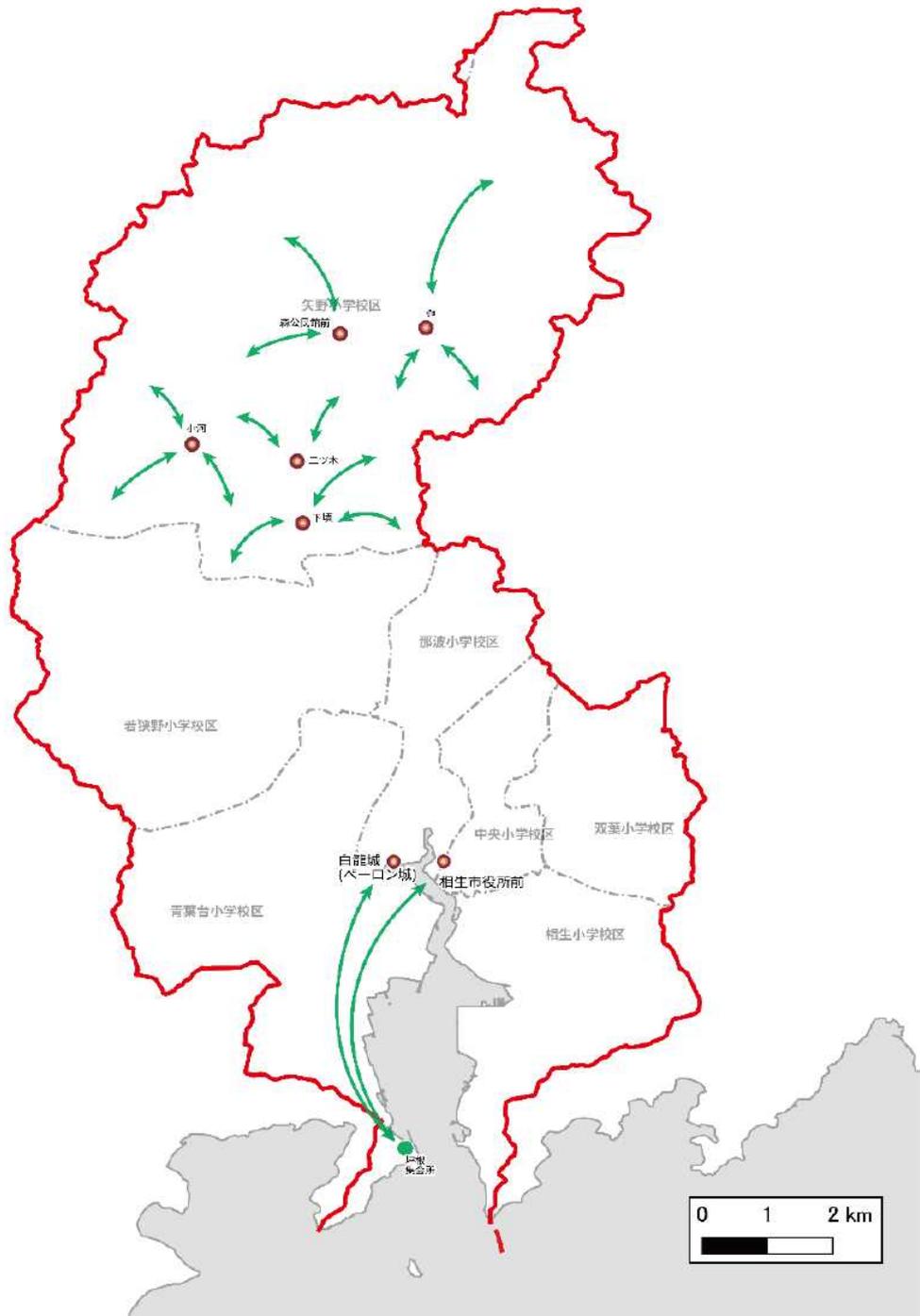
【デマンドタクシー運行図】

＜凡例＞

相生市公共交通

デマンドタクシー

指定バス停

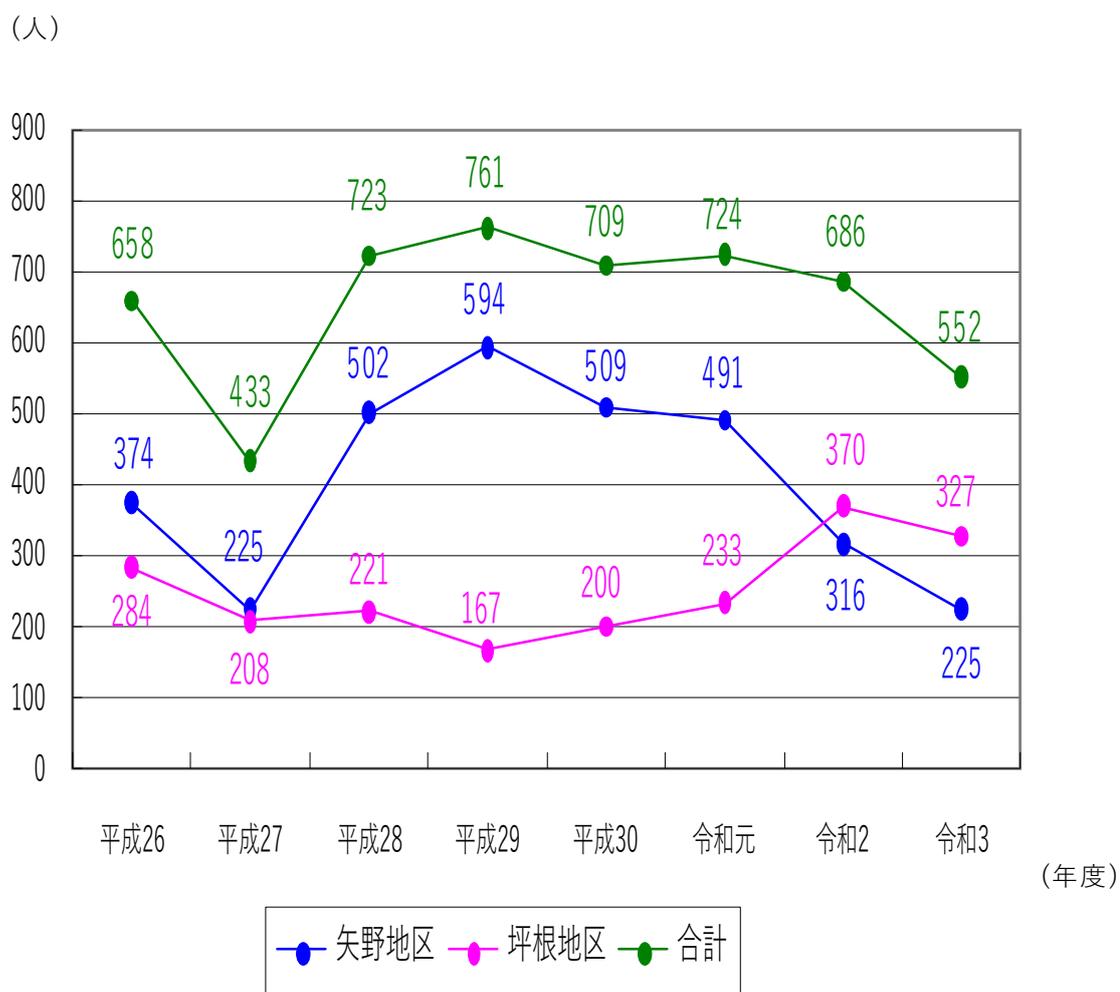


(4) デマンドタクシーの登録者及び乗車人員の推移

デマンドタクシーの登録者は令和3年度末時点で48人となっています。

また、乗車人員は近年約700人前後で推移していましたが、令和3年度は552人の利用となっており、前年比で約2割の減少となっています。

【本市におけるデマンドタクシー乗車人員】



出典：相生市資料

(5) デマンドタクシー運行に関する実情

デマンドタクシーの運行にあたっては、本市の矢野地区及び坪根地区での運行を行っていますが、それ以外の地区に関してもバス停から遠方に住んでいる方が多くおり、デマンドタクシーで対応出来ていない交通弱者の方への対応をいかに行っていくかが課題となっています。

市民アンケートの結果、デマンドタクシーの運行を実施していない地域のデマンドタクシーの認知度は総じて低く、全ての地区で70%以上の方がデマンドタクシーについて知らないと回答しています。また、デマンドタクシーの運行実施希望についても、野瀬・鰯浜・葛ヶ浜地区は56.0%の方が運行が実施されれば利用してみたいと思っていますが、それ以外の地区に関しては、利用してみたいと思うという意見は40%以下でした。

デマンドタクシーの登録者を対象としたアンケートでは、約70%の方が一度はデマンドタクシーを利用したことがあるとしていますが、残りの約30%の方は登録を行っていてもデマンドタクシーを利用したことがない状況でした。また、デマンドタクシーを利用したことがあると答えた方の中でも月に1回程度以上の頻度で利用する方は10人に満たない人数となっており、一部の登録者のみが定期的に利用していることが実情となっています。

デマンドタクシーを利用しない理由としては、移動の際は自身や同居の家族の運転で移動することが出来るからという意見が多く見受けられましたが、それ以外にも利用するための予約の必要性や自宅から最寄りの指定バス停までしか利用出来ないという点に不便さを感じる意見もありました。

デマンドタクシーに代わる移動支援策としては、利用したタクシー運賃の支援制度の実施を求める声が多く、回答者の約60%が支援策としての導入を希望しています。

以上のことから、自身や同居の家族が車を運転出来ない場合にタクシーの利用需要が発生しやすいことから、今後についてはそのような方を対象として、デマンドタクシー事業よりも利便性を向上した外出支援施策の実現を図る必要があると考えられます。

3-6 外出支援施策

本市では外出支援施策の一環として、令和6年7月より相生市地域乗合タクシー「ふれあい号」の運行や免許を返納し、かつ、運転経歴証明書の交付を受けた方を対象にタクシー利用補助券の交付を実施しています。また、福祉施策の一環として、重度の障害のある方が所定のタクシーを利用した場合に、基本料金の9割相当額を助成する「相生市福祉タクシー助成制度」を実施しています。

それ以外にも相生市社会福祉協議会が車いすに座ったまま乗れる車両などで通院や社会参加を応援する移動サービスや買い物への送迎サービスを行っています。

○相生市地域乗合タクシー「ふれあい号」(相生市)

対象者	矢野町、若狭野町に居住する方で下記に該当しない方 ①日常的に自家用車を利用できる方 ②乗降に支援を必要とする方 ③社会福祉施設に入所している方 ※利用には事前登録が必要 ※利用希望者は前日 15 時までに相生市地域振興課へ利用申込み
運行区域	対象者の自宅から指定降車地まで
指定降車地	相生市民病院、JR 相生駅、相生郵便局、IHI 播磨病院、相生市役所、扶桑電通なぎさホール、道の駅「白龍城」
利用料金	片道 100 円（往復 200 円）
運行日	矢野町：火曜日、金曜日 若狭野町：火曜日、木曜日
運行回数	運行日ごとに1日3便
備考	地元の有償ボランティアによる運行・送迎を行い、対象者の自宅から指定降車地までのドア・ツー・ドアの運行形態となっており、運転手を含めて6名まで乗車可能

○相生市タクシー利用促進補助事業（相生市）

対象者	令和6年4月1日以降に自動車運転免許証を返納し、運転経歴証明書の交付を受けた市内に住所を有する方
助成額	3,000 円（500 円券×6 枚綴り）
利用可能事業所	相生タクシー株式会社 相生神姫第一交通株式会社

○相生市福祉タクシー助成制度（相生市）

対象者	①身体障害者手帳所持者で、肢体（下肢、体幹）、視覚、内部障害の1、2級の方 ②療育手帳 A 判定の方 ③精神障害者保健福祉手帳1級の方 ※①～③のいずれも、施設入所者ではなく、本人または同一生計者が自動車税、軽自動車税の減免を受けていないこと。
助成額	一乗車につきタクシーの基本料金の9割相当額

【福祉タクシー契約事業所一覧】

事業所名	所在地
相生タクシー株式会社	相生市陸本町 11 番 28 号
相生神姫第一交通株式会社	相生市大島町 11 番 29 号
福祉タクシーけんちゃん	相生市相生 2 丁目 13 番 6 号
合同会社 Happiness（介護タクシーほほえみ）	相生市大石町 19 番 10 号
株式会社アトム	赤穂市東有年 157 番地の 2
福祉タクシーさこし	赤穂市目坂 772-2
社会福祉法人 桑の実園福祉会（介護タクシー格さん）	たつの市揖西町小神字塚原 1551 番地
介護タクシーサンチェス	たつの市神岡町上横内 39
リリーライフ福祉タクシー	たつの市誉田町片吹 85 番地の 5
ハートフル介護タクシー	宍粟市山崎町金谷 494
福祉タクシーあやとり	佐用郡佐用町豊福 1401
株式会社テクノエイドケアセンター（あい福祉タクシー）	姫路市青山 5 丁目 10 番 19 号
有限会社トランタン（介護タクシーシャイン）	姫路市下手野 4 丁目 14 番 2 号
株式会社大和建设（ぷらすわん）	姫路市飾磨区阿成 13 番地 16

○移送サービス（相生市社会福祉協議会）

対象者	①本市内在住で自力での歩行が困難なために車いすなどを使用している方 ②福祉的課題が認められ、社会福祉協議会が特に利用の必要性を認めた方
運行範囲	本市または赤穂市
利用料金	利用距離により変動（有料道路や有料駐車場を使用した場合は別途負担）
利用回数	同日の利用（往復・片道とも）を1回として、その月の1日から月末までの1ヶ月に週1回、又は月4回を限度

○買い物送迎サービス（相生市社会福祉協議会）

対象者	①おおむね65歳以上の方で、同居者に車を運転する方がいない人 ②自分で買い物ができる人 ※利用には事前登録が必要 ※利用希望者は前日までに社会福祉協議会へ利用申込み
送迎先	イオンタウン周辺の商業施設（スーパー・ホームセンター）など
運行日	第1金曜日：鰯浜・野瀬コース（鰯浜・野瀬） 第2金曜日：矢野・若狭野コース（菅谷・小河・上土井・下土井・寺田・八洞） 第3金曜日：若狭野コース（若狭野・福井・雨内・出・上松・西後明・東後明・野々・入野・鶴亀） 第4金曜日：矢野コース（能下・榊・釜出・金坂・中野・森・瓜生・上・真広・二木・下田） ※買い物時間は午前中で約60分を予定 ※祝日などで運行日が変わる可能性があります
利用料金	無料

3-7 地域の輸送資源

本市では、医療施設や福祉施設をはじめとして、施設や企業が独自で送迎サービスなどを実施しています。

市内の公共交通不便地域や交通弱者が増加傾向にあるなか、これらの送迎サービスの有効活用を行うための施策についても検討する必要があると思われます。

【病院送迎バス】

施設名	所在地	送迎対象者	送迎対象地域・施設	運行日
相生市民病院	相生市	患者	相生市全域	月～金
半田中央病院	相生市	患者	相生市全域	月～土
IHI 播磨病院	相生市	透析患者	相生市全域	月～土
魚橋病院	相生市	患者	JR 相生駅	月～土

【自動車学校送迎バス】

施設名	所在地	送迎対象者	送迎対象地域・施設	運行日
相生自動車教習所	相生市	教習生	教習所から往復 50 分圏内	営業日
赤穂自動車教習所	赤穂市	教習生	相生市全域	営業日
竜野自動車学院	たつの市	教習生	JR 相生駅	営業日
網干自動車教習所	姫路市	教習生	相生市全域	営業日

【通学バス】

施設名	所在地	送迎対象者	送迎対象地域・施設	運行日
相生市立那波中学校	相生市	生徒	鰯浜地区～野瀬地区～那波 中学校までのルート	平日及び 行事日

【通学タクシー】

施設名	所在地	送迎対象者	送迎対象地域・施設	運行日
相生市立相生小学校	相生市	児童	坪根地区～なぎさホール前 までのルート	平日及び 行事日
相生市立那波中学校	相生市	生徒	坪根地区～那波中学校まで のルート	平日及び 行事日

【福祉輸送サービス】

施設名	所在地	送迎対象者	送迎対象地域・施設	運行日
老人保健施設ハイマート	相生市	利用者	相生市全域	月～土
栗尾整形外科通所リハビリテーション	相生市	利用者	相生市全域	月～金
老人保健施設アルテハイムやまて	相生市	利用者	相生市全域	月～金
ノア整形外科クリニック	相生市	利用者	相生市（一部地域を除く）	月～金
こすもす倶楽部デイサービスセンター	相生市	利用者	相生市全域	月～土
グループホーム天馬	相生市	利用者	相生市全域	月～土
グリーンハウスデイサービスセンター	相生市	利用者	相生市全域	毎日
有限会社 愛の家	相生市	利用者	相生市全域	月～金
デイサービスセンター コーラス汐見	相生市	利用者	相生市全域	月～金
デイサービスおひさま	相生市	利用者	相生市全域	月～土
若狭野の里デイサービスセンター	相生市	利用者	相生市全域	月～金
あすなろリハビリスタジオ	相生市	利用者	相生市全域	月～金
ポラリスデイサービスセンター 相生	相生市	利用者	相生市全域	月～土
なばの里デイサービスセンター	相生市	利用者	相生市全域	月～水、 金～土
半田中央病院	相生市	利用者	相生市全域	月～土
デイサービス おおの家	相生市	利用者	相生市全域	月～土
小規模多機能型居宅介護事業所 「ふたば」	相生市	利用者	相生市全域	毎日
緑の郷	相生市	利用者	相生市全域	毎日
小規模多機能型居宅介護事業所 たんぼぼ	相生市	利用者	相生市全域	毎日
小規模多機能型居宅介護 天馬の家	相生市	利用者	相生市全域	毎日
相生市立障害者支援施設野の草園	相生市	利用者	相生市全域	月～金
みどり荘（短期入所）	相生市	利用者	相生市全域	月～土
みどり荘（生活介護）	相生市	利用者	相生市全域	月～金
就労継続支援事業所グリーン	相生市	利用者	相生市全域	月～金

いぶき作業所	相生市	利用者	相生市全域	月～金
就労継続支援施設 A 型事業所 あすなる	相生市	利用者	JR 相生駅	利用者の 出勤日
オリンピック相生 元気アップみの り作業所	相生市	利用者	相生市全域	月～金
地域活動支援センターワーキング 相生（ふらっと相生）	相生市	利用者	相生市全域	月～土
障害者ケアホーム 入野グリーン	相生市	利用者	相生市全域	毎日
夢門塾ゆうゆう相生	相生市	利用者	相生市全域	月～土
児童発達支援事業所あおぞら	相生市	利用者	相生市全域	月～土

【商業施設送迎バス】

施設名	所在地	送迎対象者	送迎対象地域・施設	運行日
コープデイズ相生	相生市	コープこうべ 組合員	相生市（施設から片道 20 分程度のエリアで運行）	月～金

※送迎対象者となるには、組合員以外にも 65 歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方、妊婦または未就学児をお連れの方のいずれかを満たす必要があります。

【観光施設送迎バス】

施設名	所在地	送迎対象者	送迎対象地域・施設	運行日
HOTEL 万葉岬	相生市	利用者	JR 相生駅（市外在住者） 近くの施設（市内在住者）	営業日

【移動販売サービス】

施設名	所在地	販売対象地区・施設	運行日
コープデイズ相生	相生市	相生地区、野瀬地区、鱒浜地区、古池地区、 矢野地区（能下、上、二木）	月
		矢野地区（小河、中野、下田、真広）、 若狭野地区（若狭野、雨内）	火
カワベ（移動スーパーとくし丸）	相生市	菅原町、山手、垣内町、古池、赤坂、那波野、 相生地区、鱒浜	月、木
		矢野地区、若狭野地区	火、金
		緑ヶ丘、青葉台、佐方、千尋、那波	水、土

3-8 相生市における移動状況

(1) 市民アンケート調査の概要

本市の市民の公共交通の利用実態と意向を調査し、本市の望ましい公共交通のあり方について検討する際の資料とするために市民アンケート調査を実施しました。以下にその概要を示します。

項目	内容
調査目的	地域公共交通計画の策定に向けて、統計データや既存データだけでは把握できない市民の公共交通の利用実態や意向を調査することで、本市の公共交通のあり方について検討するため
調査対象	15歳以上の市民から無作為で抽出した3,000人
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和4年8月29日(月)～令和4年9月20日(火)
回収数(回収率)	回収数：1,357人(回収率：45.2%)

(2) 調査結果の集計

回収された調査表に記載された回答を基に、設問ごとに集計を行いました。

また、結果の分析にあたり、年齢層や居住地区などの回答者属性ごとに回答を細分化して傾向を把握しました。

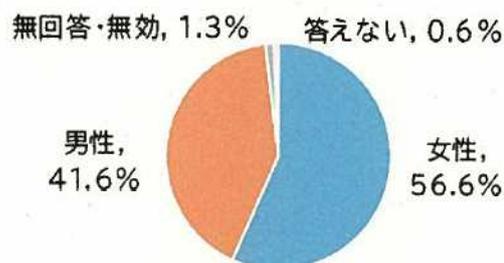
なお、集計結果は、小数点第1位まで表記していますが、四捨五入の関係上、設問ごとの割合を合計しても100%にならない場合があります。

(3) 集計結果

問1 あなたの性別をお答えください。(〇は一つ)

・「女性」が56.6%、「男性」が41.6%、「無回答・無効」が1.3%となっています。

選択肢	合計	割合
男性	564	41.6%
女性	768	56.6%
答えない	8	0.6%
無回答・無効	17	1.3%
回答数	1,357	100.0%



問2 あなたの年齢をお答えください。(〇は一つ)

・「70～74歳」が17.2%と最も多く、次いで、「80歳代以上」が16.4%、「75～79歳」が13.5%となっています。

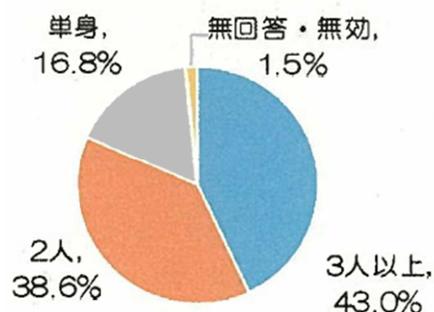
選択肢	合計	割合
10歳代	33	2.4%
20歳代	56	4.1%
30歳代	80	5.9%
40歳代	160	11.8%
50歳代	145	10.7%
60～64歳	99	7.3%
65～69歳	132	9.7%
70～74歳	234	17.2%
75～79歳	183	13.5%
80歳代以上	223	16.4%
無回答・無効	12	0.9%
回答数	1,357	100.0%



問3 あなたの世帯人数をお答えください。(〇は一つ)

・「3人以上」が43.0%と最も多く、次いで、「2人」が38.6%、「単身」が16.8%となっています。

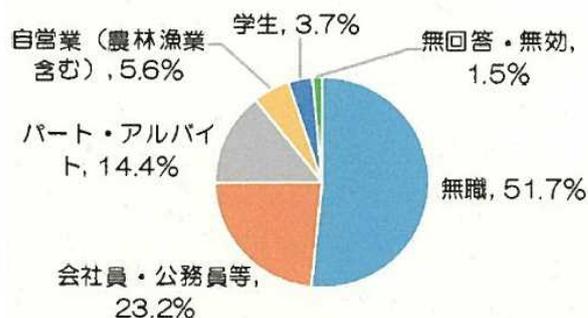
選択肢	合計	割合
単身	228	16.8%
2人	524	38.6%
3人以上	584	43.0%
無回答・無効	21	1.5%
回答数	1,357	100.0%



問4 あなたの就業状況をお答えください。(〇は一つ)

・「無職」が51.7%と最も多く、次いで、「会社員・公務員等」が23.2%、「パート・アルバイト」が14.4%となっています。

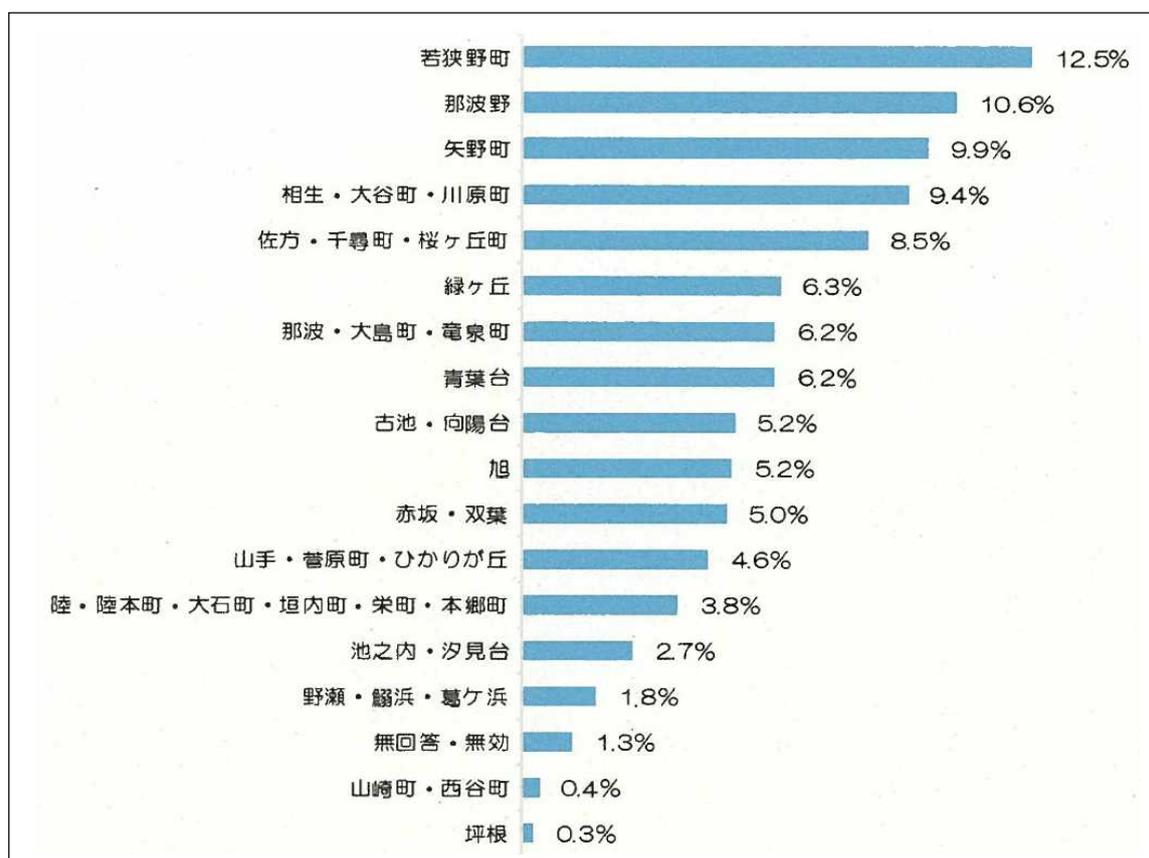
選択肢	合計	割合
会社員・公務員等	315	23.2%
自営業（農林漁業含む）	76	5.6%
パート・アルバイト	195	14.4%
学生	50	3.7%
無職	701	51.7%
無回答・無効	20	1.5%
回答数	1,357	100.0%



問5 あなたのお住まいをお答えください。(〇は一つ)

- ・若狭野町が12.5%と最も多く、次いで、那波野が10.6%、矢野町が9.9%となっています。

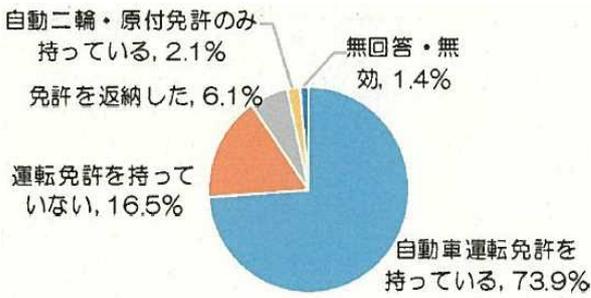
選択肢	合計	割合
相生・大谷町・川原町	128	9.4%
野瀬・鱒浜・葛ヶ浜	25	1.8%
坪根	4	0.3%
旭	70	5.2%
山手・菅原町・ひかりが丘	62	4.6%
陸・陸本町・大石町・垣内町・栄町・本郷町	52	3.8%
那波・大島町・竜泉町	84	6.2%
緑ヶ丘	86	6.3%
青葉台	84	6.2%
佐方・千尋町・桜ヶ丘町	115	8.5%
山崎町・西谷町	6	0.4%
那波野	144	10.6%
古池・向陽台	71	5.2%
池之内・汐見台	37	2.7%
赤坂・双葉	68	5.0%
若狭野町	169	12.5%
矢野町	135	9.9%
無回答・無効	17	1.3%
回答数	1,357	100.0%



問 6 現在運転免許を持っていますか。(〇は一つ)

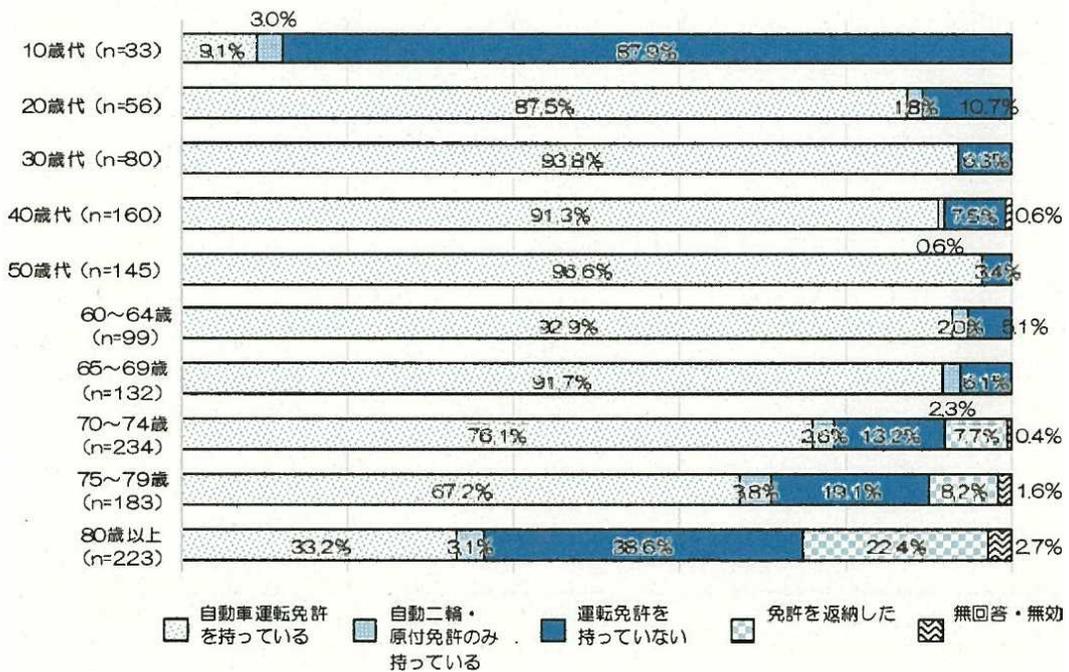
・「自動車運転免許を持っている」とする回答が73.9%と最も多く、次いで、「運転免許を持っていない」が16.5%、「免許を返納した」が6.1%となっています。

選択肢	合計	割合
自動車運転免許を持っている	1,003	73.9%
自動二輪・原付免許のみ持っている	28	2.1%
運転免許を持っていない	224	16.5%
免許を返納した	83	6.1%
無回答・無効	19	1.4%
回答数	1,357	100.0%



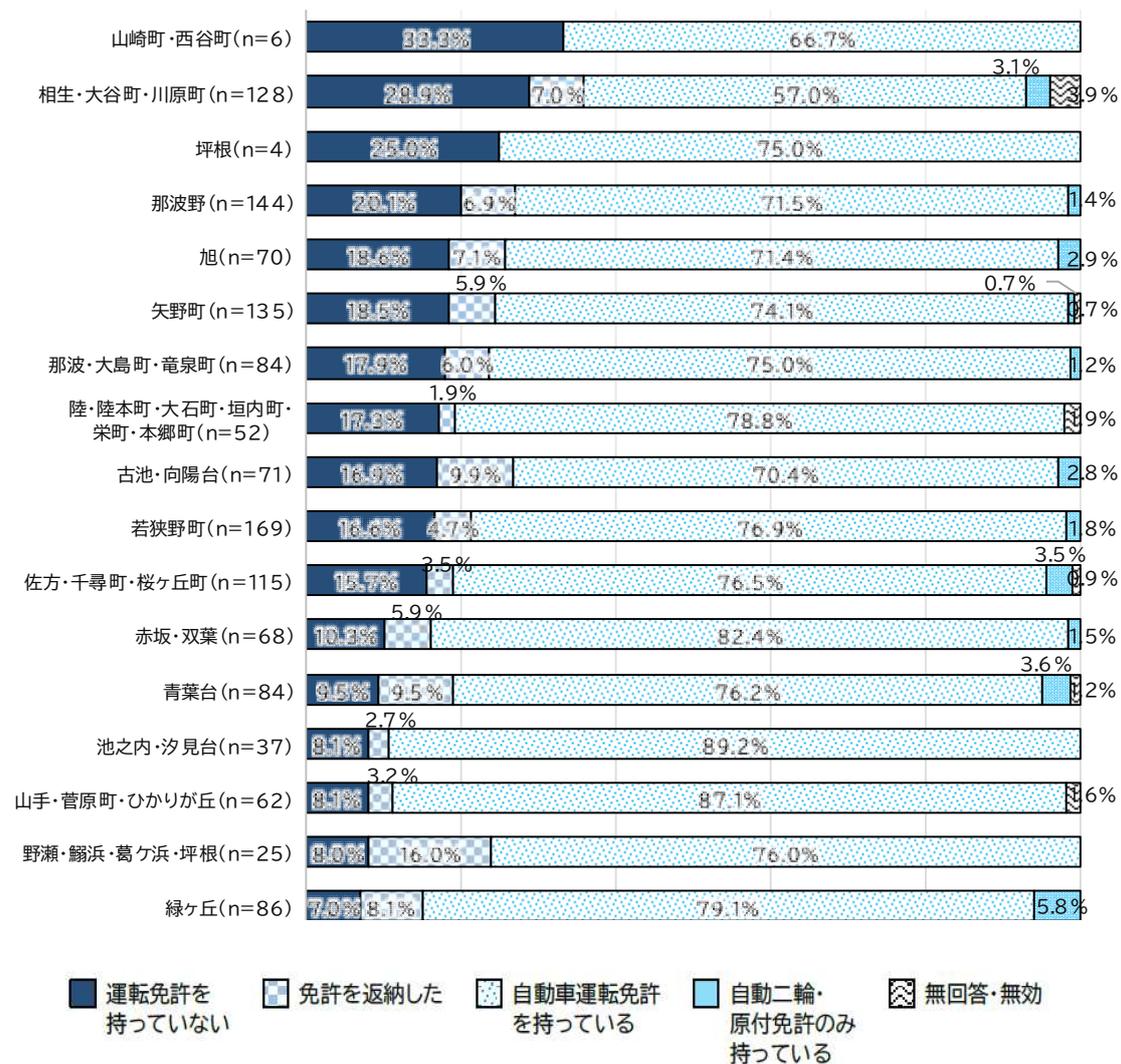
□年齢別

- ・免許の保有状況を年齢別にみると、30歳代から69歳までは90%以上が自動車運転免許を持っていると回答しています。
- ・70歳以降では自動車運転免許を持っているとの回答が減少し、80歳以上では33.2%となっています。
- ・80歳以上では運転免許を持っていないとする回答とともに免許を返納したとする回答も2割以上見られます。
- ・10歳代でも運転免許を持っていないとする回答が8割以上となっています。
- ・自動二輪・原付免許のみ持っていると答える割合は、各年齢層とも多くても2~3%程度となっています。



□居住地区別

- 「運転免許を持っていない」と答える割合の高い地区は、「山崎町・西谷町」で3割以上、「相生・大谷町・川原町」で3割近くを占めています。
- 「坪根」、「那波野」、「旭」、「矢野町」などで2割前後となっています。

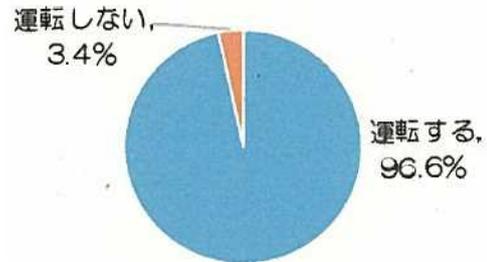


問6で「運転免許を持っている」と答えた方

① 自分自身で自動車の運転をされますか。(〇は一つ)

・「運転する」とする回答が96.6%、「運転しない」は3.4%となっています。

選択肢	合計	割合
運転する	969	96.6%
運転しない	34	3.4%
無回答・無効	0	0.0%
回答数	1,003	100.0%

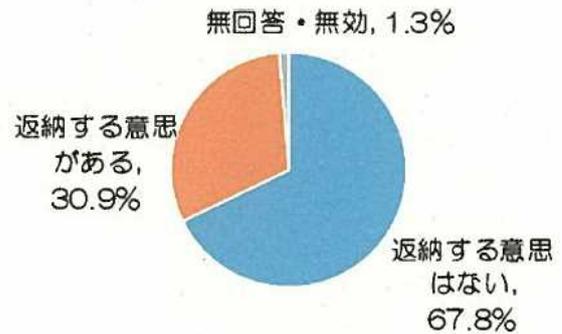


問6で「運転免許を持っている」と答えた方

② 自動車運転免許の返納についてどうお考えですか。(〇は一つ)

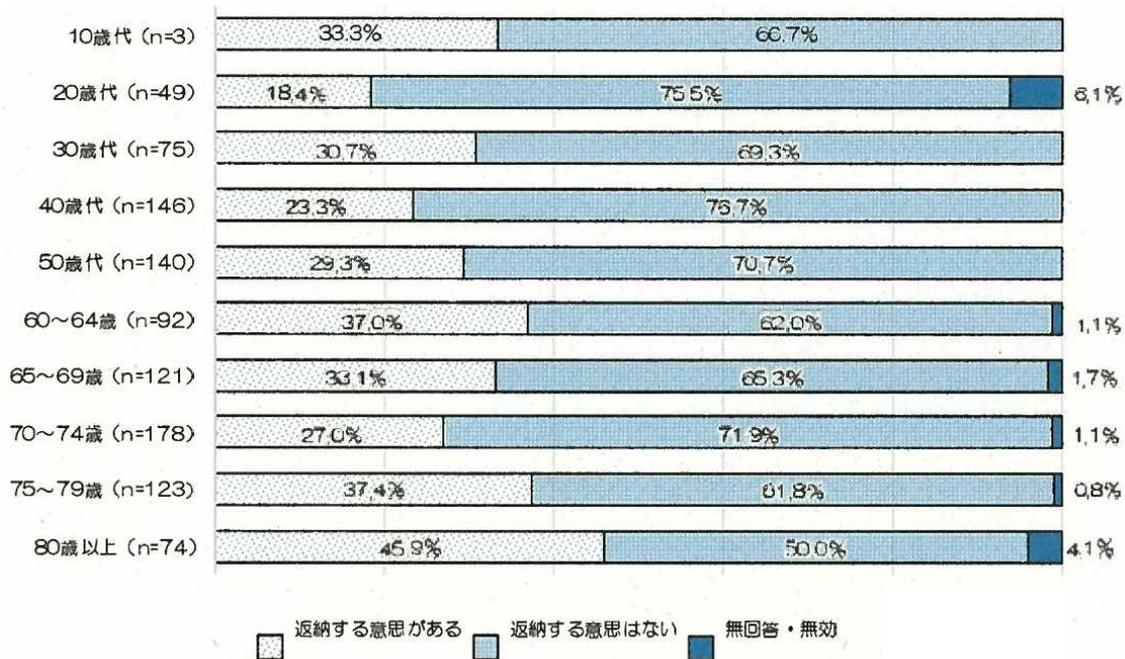
・「返納する意思はない」とする回答が67.8%、「返納する意思がある」が30.9%、「無回答・無効」が1.3%となっています。

選択肢	合計	割合
返納する意思がある	310	30.9%
返納する意思はない	680	67.8%
無回答・無効	13	1.3%
回答数	1,003	100.0%



□年齢別

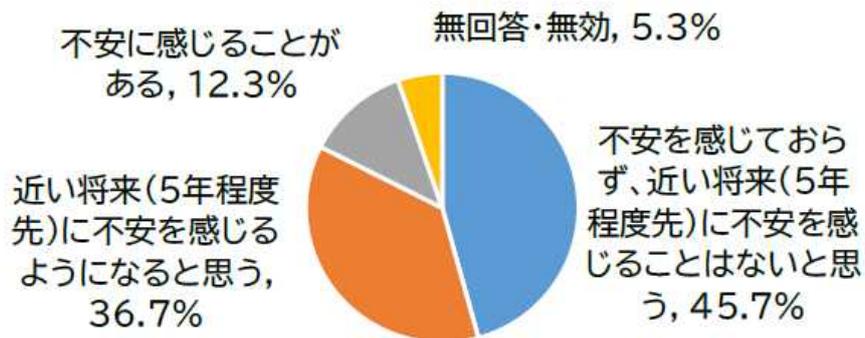
- ・自動車運転免許の返納についてどうお考えですかという問いに、80歳以上では「返納する意思がある」が45.9%、「返納する意思はない」が50.0%となっています。
- ・そのほかの年代でも「返納する意思はない」の割合が「返納する意思がある」の割合を上回っています。



問6 ①で「運転する」と答えた方
 ③ 自動車を運転するのに不安に感じることはありますか。(〇は一つ)

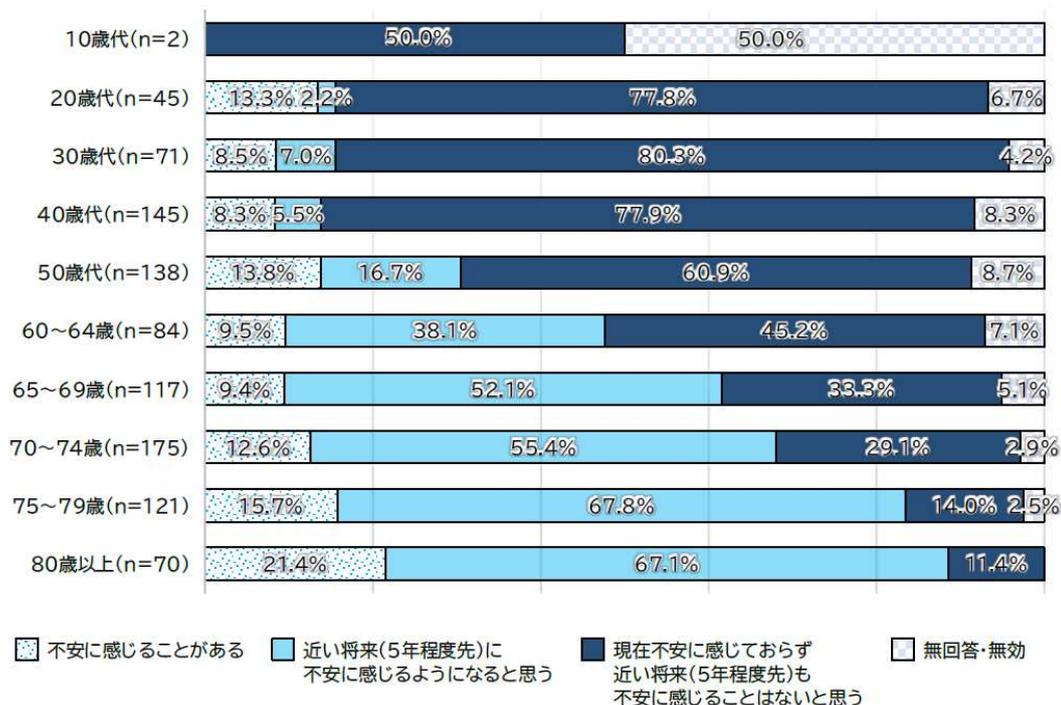
・「不安を感じておらず、近い将来(5年程度先)に不安を感じることはないと思う」とする回答が45.7%と最も多く、次いで、「近い将来(5年程度先)に不安を感じるようになると思う」が36.7%、「不安に感じることもある」が12.3%となっています。

選択肢	合計	割合
不安に感じることもある	119	12.3%
近い将来(5年程度先)に不安を感じるようになると思う	356	36.7%
不安を感じておらず、近い将来(5年程度先)に不安を感じることはないと思う	443	45.7%
無回答・無効	51	5.3%
回答数	969	100.0%



□年齢別

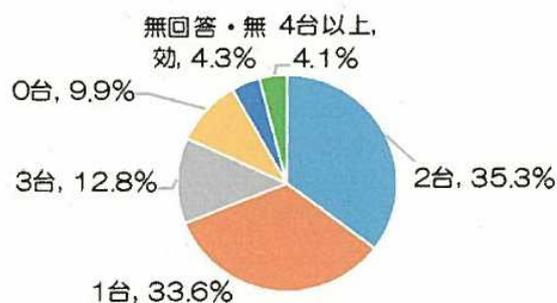
- ・自動車を運転するのに不安に感じることはあるかという問いに、年齢が高くなるにつれて「不安に感じることもある」、「近い将来（5年程度先）に不安を感じるようになると思う」の回答が高くなる傾向にあります。
- ・特に75歳以上では8割以上が「不安に感じることもある」、「近い将来（5年程度先）に不安を感じるようになると思う」と答えています。



問7 現在の世帯での自家用自動車（普通自動車、軽自動車）の保有台数をお答えください。（〇は一つ）

- ・2台が35.3%と最も多く、次いで、1台が33.6%、3台が12.8%となっています。
- ・0台と答える回答も1割程度見られます。

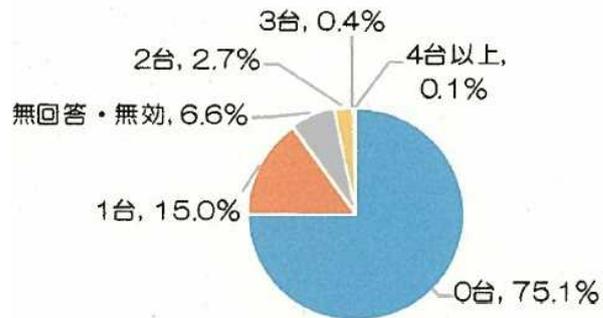
選択肢	合計	割合
0台	135	9.9%
1台	456	33.6%
2台	479	35.3%
3台	174	12.8%
4台以上	55	4.1%
無回答・無効	58	4.3%
回答数	1,357	100.0%



問 8 現在の世帯での原付・バイクの保有台数をお答えください。(〇は一つ)

・0台が75.1%と最も多く、次いで、1台が15.0%、無回答・無効が6.6%となっています。

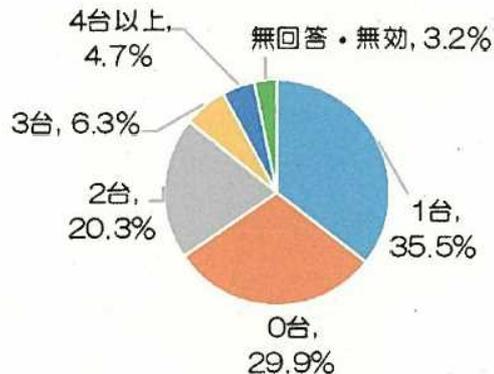
選択肢	合計	割合
0台	1,019	75.1%
1台	204	15.0%
2台	37	2.7%
3台	5	0.4%
4台以上	2	0.1%
無回答・無効	90	6.6%
回答数	1,357	100.0%



問 9 現在の世帯での自転車の保有台数をお答えください。(〇は一つ)

・1台が35.5%と最も多く、次いで、0台が29.9%、2台が20.3%となっています。

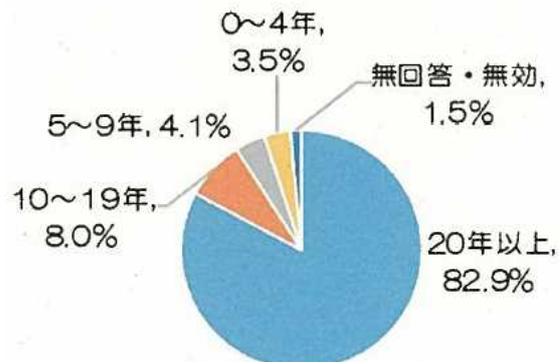
選択肢	合計	割合
0台	406	29.9%
1台	482	35.5%
2台	276	20.3%
3台	85	6.3%
4台以上	64	4.7%
無回答・無効	44	3.2%
回答数	1,357	100.0%



問 10 相生市内での合計居住年数は何年ですか。(〇は一つ)

・20年以上が82.9%と最も多く、次いで、10～19年が8.0%、5～9年が4.1%となっています。

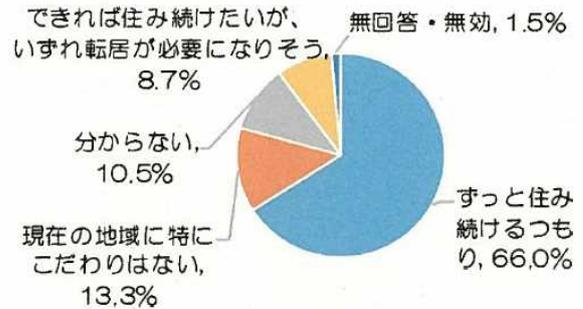
選択肢	合計	割合
0～4年	48	3.5%
5～9年	55	4.1%
10～19年	109	8.0%
20年以上	1,125	82.9%
無回答・無効	20	1.5%
回答数	1,357	100.0%



問 11 現在お住まいの地域に今後も住み続けたいですか。(〇は一つ)

- ・「ずっと住み続けるつもり」とする回答が 66.0%と最も多く、次いで、「現在の地域に特にこだわりはない」が 13.3%、「分からない」が 10.5%となっています。

選択肢	合計	割合
ずっと住み続けるつもり	896	66.0%
できれば住み続けたいが、いずれ転居が必要になりそう	118	8.7%
現在の地域に特にこだわりはない	180	13.3%
分からない	143	10.5%
無回答・無効	20	1.5%
回答数	1,357	100.0%



問 12 相生市内のバスをどの程度利用していますか。(〇は一つ)

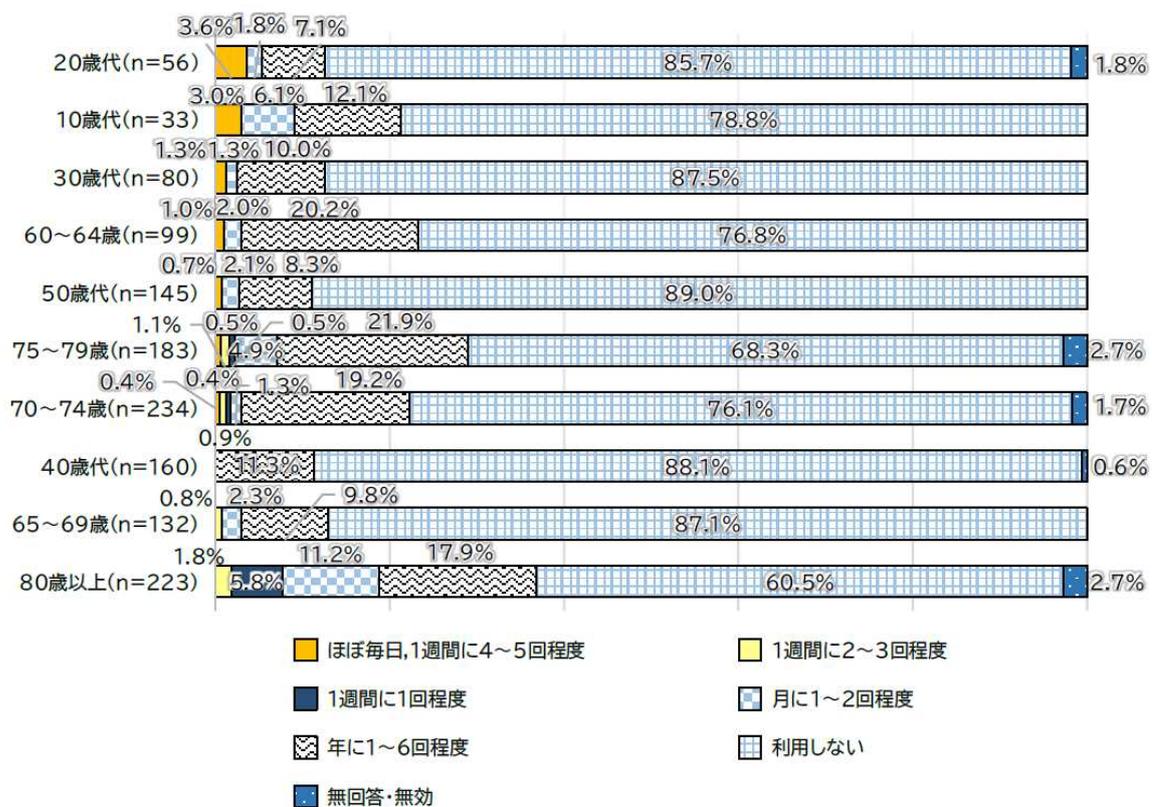
- ・「利用しない」が77.5%、「年に1～2回程度」が10.6%、「年に5～6回程度」が4.6%となっています。
- ・「ほぼ毎日」、「1週間に4～5回程度」、「1週間に2～3回程度」と答える人数は、合計 17 人、回答数全体に占める割合は 1.3%となっています。

選択肢	合計	割合
ほぼ毎日	5	0.4%
1週間に4～5回程度	3	0.2%
1週間に2～3回程度	9	0.7%
1週間に1回程度	15	1.1%
月に1～2回程度	49	3.6%
年に5～6回程度	62	4.6%
年に1～2回程度	144	10.6%
利用しない	1,051	77.5%
無回答・無効	19	1.4%
回答数	1,357	100.0%



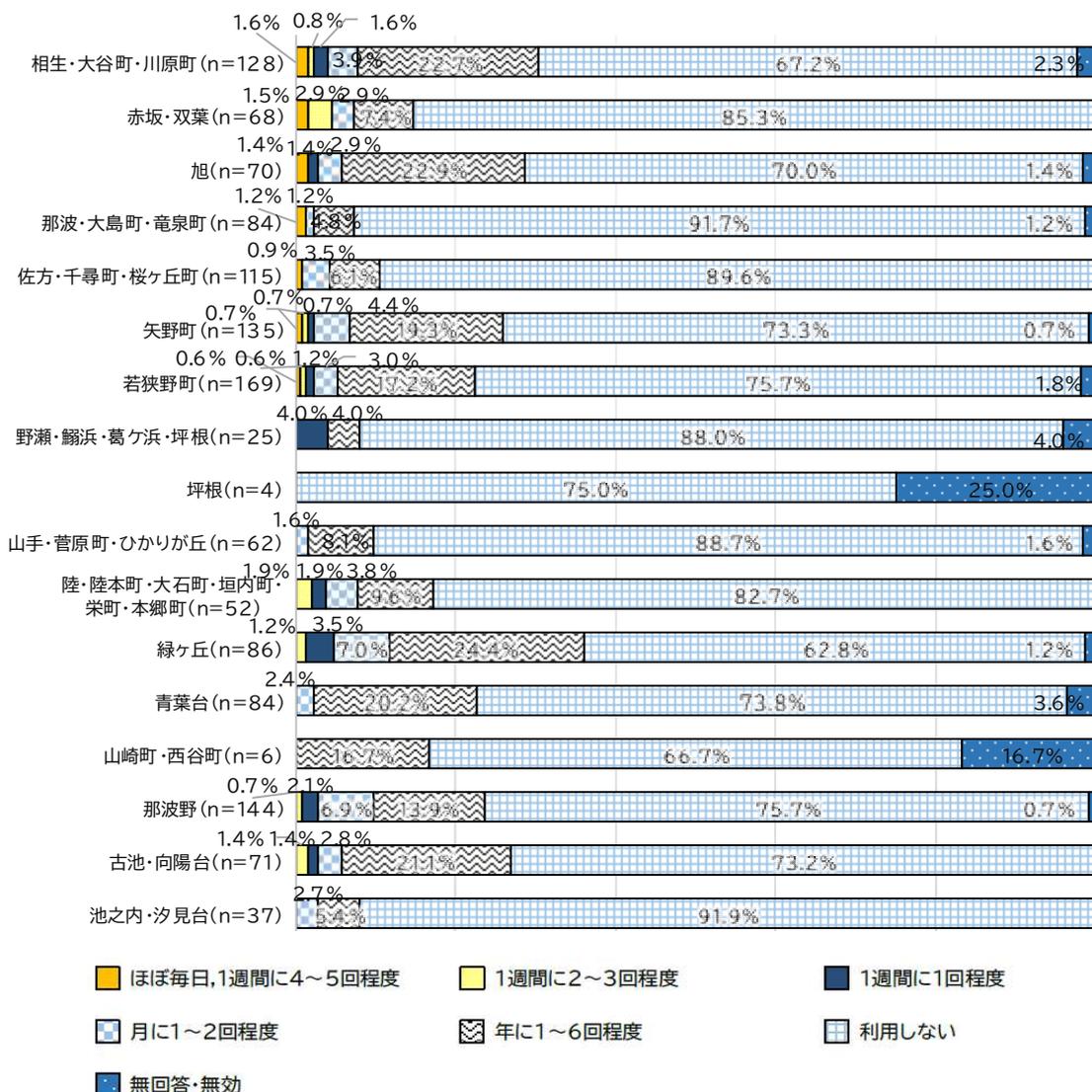
□年齢別

- 相生市内のバスの利用回数は、どの年齢でも「利用しない」が6～9割近くを占め、次いで、年に1～6回程度となっています。
- 80歳以上では「1週間に2～3回程度」、「1週間に1回程度」、「月に1～2回程度」と答える割合を合計すると18.8%で、他の年齢層よりも利用されています。



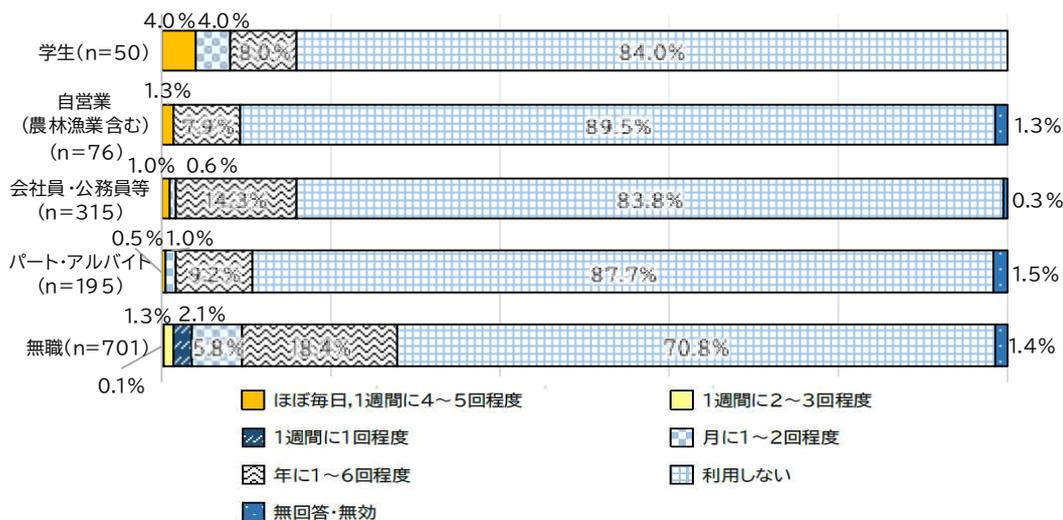
□居住地区別

- 相生市内のバスの利用回数を居住地区別にみた場合、「ほぼ毎日・1週間に4～5回程度」と答える割合はどの地区でも2%未満で、地区によって特に利用頻度が高いなどの明瞭な傾向は見られません。



□職業別

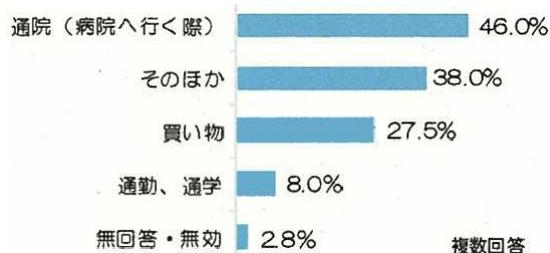
- ・相生市内のバスの利用回数を職業別にみると、「学生」では「ほぼ毎日・1週間に4～5回」と答える割合が他の職業区分に比べると高くなっています。
- ・「無職」では、「1週間に2～3回程度」、「1週間に1回程度」と答える割合が他の職業区分に比べると高くなっています。



問 13 バスを利用する場合、どのようなときに利用されていますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「通院（病院へ行く際）」とする回答が46.0%と最も多く、次いで、「そのほか」が38.0%、「買い物」が27.5%となっています。
- ・その他についての自由記述をみると、駅（JR）に行くときに関連する記述が78件で最も多く、次いで、飲酒・外食に行くときに関連する記述の19件となっています。そのほか、急用の際や荒天時などの記述がみられました。

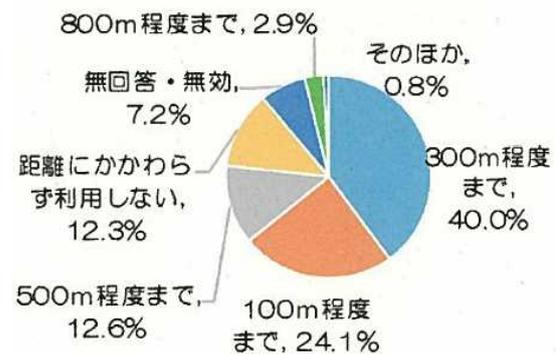
選択肢	合計	割合
通勤、通学	23	8.0%
買い物	79	27.5%
通院（病院へ行く際）	132	46.0%
そのほか	109	38.0%
無回答・無効	8	2.8%
回答数	287	100.0%



問 14 自宅近くにバス停がある場合、どの程度の距離なら徒歩で利用しようと思いますか。(〇は一つ)

- ・「300m程度まで」とする回答が40.0%と最も多く、次いで、「100m程度まで」が24.1%、「500m程度まで」が12.6%となっています。
- ・「そのほか」の回答には、100m以下が2件、1km以上とする回答が7件見られました。(2件は無記載)

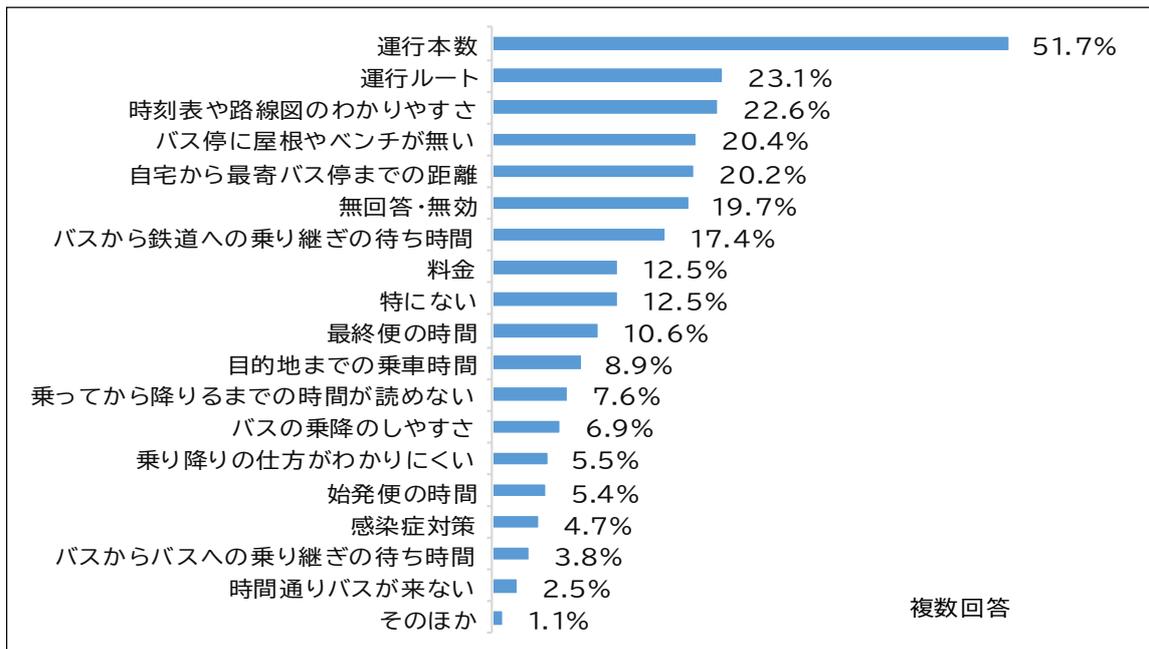
選択肢	合計	割合
100m程度まで	327	24.1%
300m程度まで	543	40.0%
500m程度まで	171	12.6%
800m程度まで	40	2.9%
そのほか	11	0.8%
距離にかかわらず利用しない	167	12.3%
無回答・無効	98	7.2%
回答数	1,357	100.0%



問 15 あなたのご自宅の近くのバス路線について不満に感じることはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

- ・「運行本数」とする回答が51.7%と最も多く、次いで、「運行ルート」が23.1%、「時刻表や路線図のわかりやすさ」が22.6%となっています。

選択肢	合計	割合
運行本数	701	51.7%
運行ルート	313	23.1%
始発便の時間	73	5.4%
最終便の時間	144	10.6%
時間通りバスが来ない	34	2.5%
時刻表や路線図のわかりやすさ	307	22.6%
バス停に屋根やベンチが無い	277	20.4%
料金	170	12.5%
乗り降りの仕方がわかりにくい	75	5.5%
バスの乗降のしやすさ	93	6.9%
自宅から最寄バス停までの距離	274	20.2%
乗ってから降りるまでの時間が読めない	103	7.6%
目的地までの乗車時間	121	8.9%
バスから鉄道への乗り継ぎの待ち時間	236	17.4%
バスからバスへの乗り継ぎの待ち時間	52	3.8%
感染症対策	64	4.7%
特にない	170	12.5%
そのほか	15	1.1%
無回答・無効	267	19.7%
回答数	1,357	100.0%



問 16 相生市内から鉄道をどの程度利用していますか。(〇は一つ)

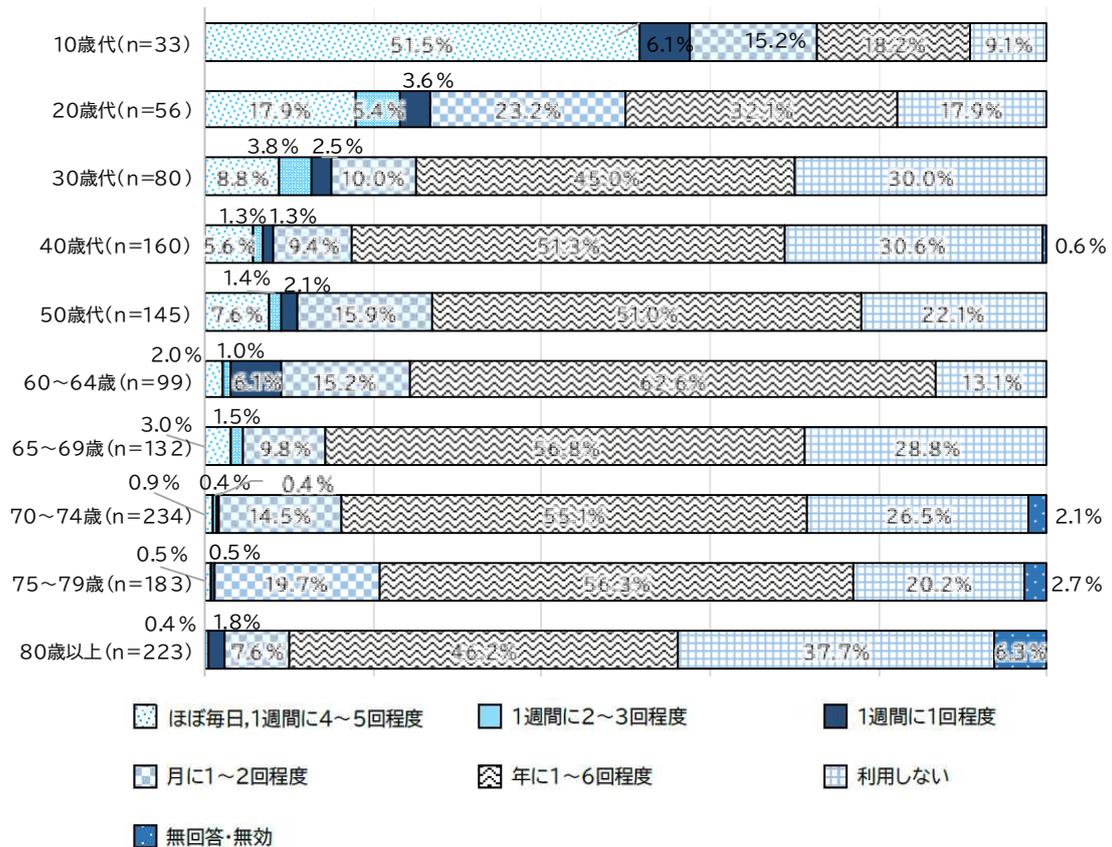
- ・「年に1～2回程度」が31.8%と最も多く、次いで、「利用しない」が26.2%、「年に5～6回程度」が19.2%となっています。
- ・「ほぼ毎日」、「1週間に4～5回程度」、「1週間に2～3回程度」と答える割合は合計で5.8%となっています。

選択肢	合計	割合
ほぼ毎日	40	2.9%
1週間に4～5回程度	23	1.7%
1週間に2～3回程度	16	1.2%
1週間に1回程度	24	1.8%
月に1～2回程度	180	13.3%
年に5～6回程度	261	19.2%
年に1～2回程度	431	31.8%
利用しない	355	26.2%
無回答・無効	27	2.0%
回答数	1,357	100.0%



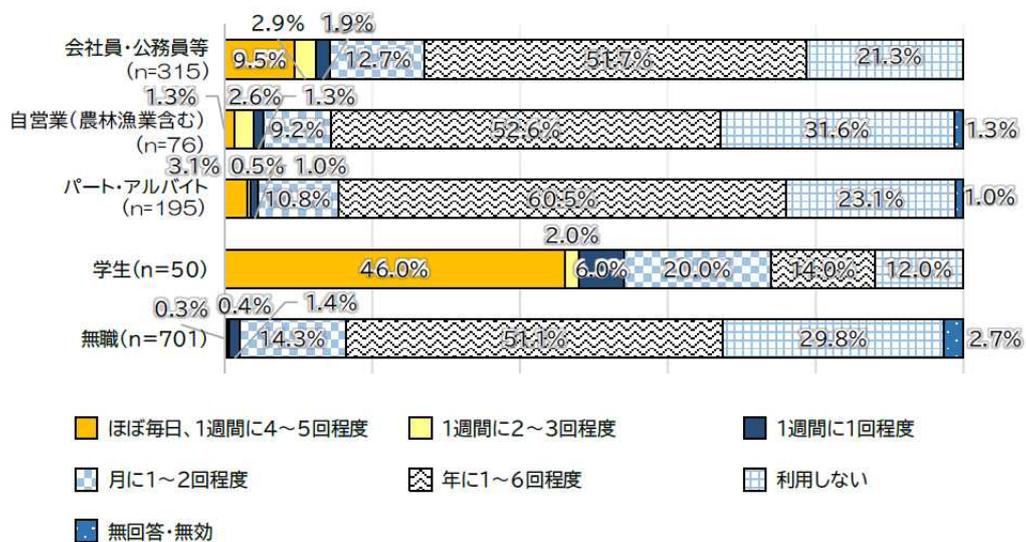
□年齢別

- ・鉄道の利用回数を年齢別にみると、「ほぼ毎日・1週間に4～5回程度」と答える割合は、10歳代で高い傾向にあり、年齢が高くなるにしたがい利用頻度が低くなる傾向にあります。



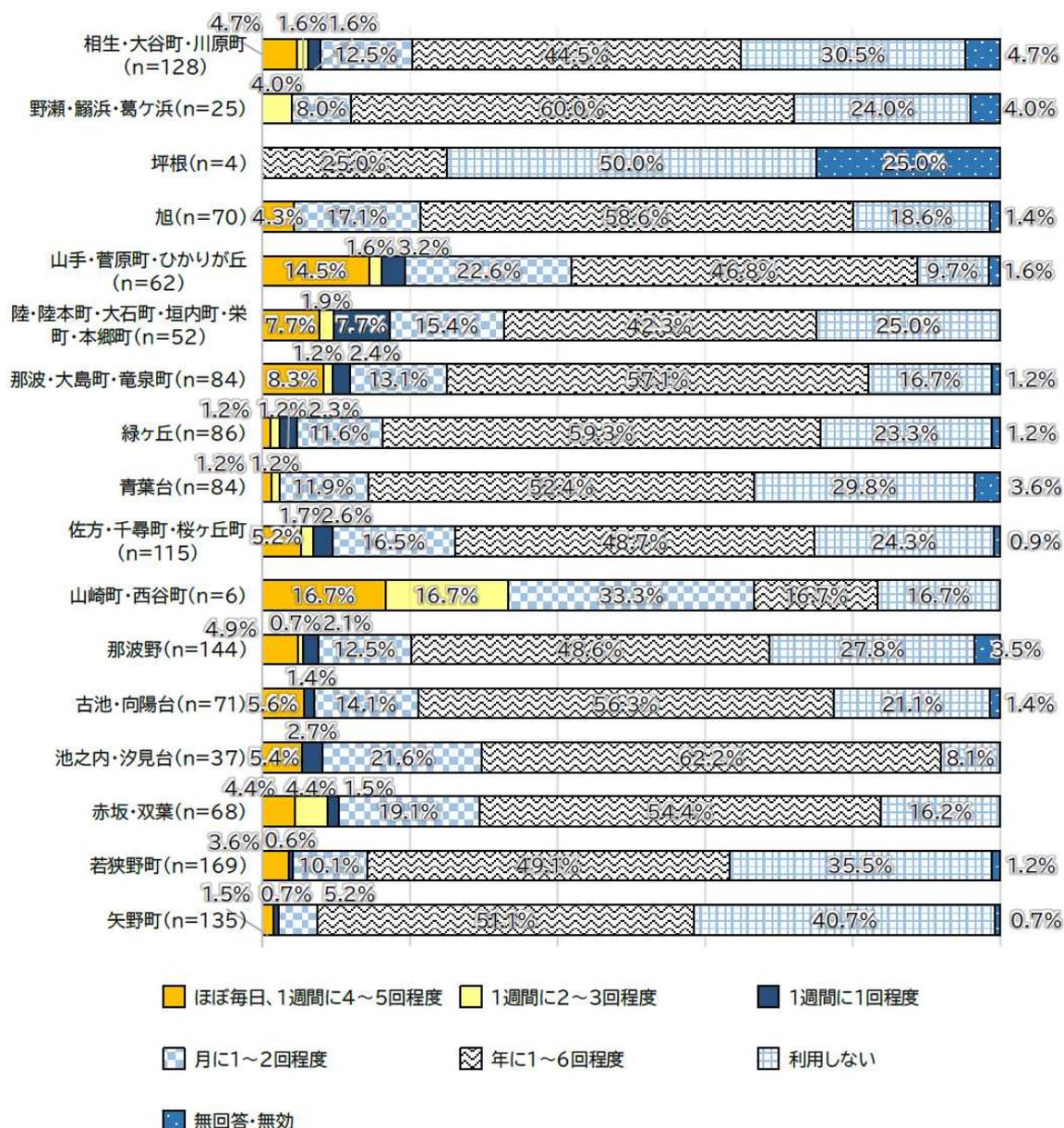
□職業別

- ・ 鉄道の利用回数を職業別にみると、「ほぼ毎日・1週間に4~5回程度」と答える割合が学生で46.0%と高い傾向にあります。
- ・ 次いで、会社員・公務員で9.5%が、「ほぼ毎日・1週間に4~5回程度」と答えています。



□居住地区別

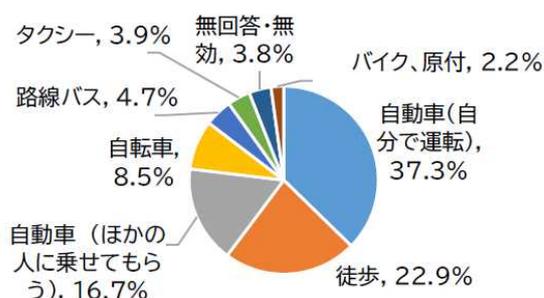
- ・鉄道の利用回数を居住地区別にみると、「山崎町・西谷町」、「山手・菅原町・ひかりが丘」で他の居住地区に比べて高い割合となっています。（ただし、山崎町・西谷町の全回答者数は6人と少ない）



問 17 市内の駅までの主な交通手段は何ですか。(〇は一つ)

- ・「自動車（自分で運転）」が 37.3%と最も多く、次いで、「徒歩」が 22.9%、「自動車（ほかの人にさせてもらう）」が 16.7%となっています。

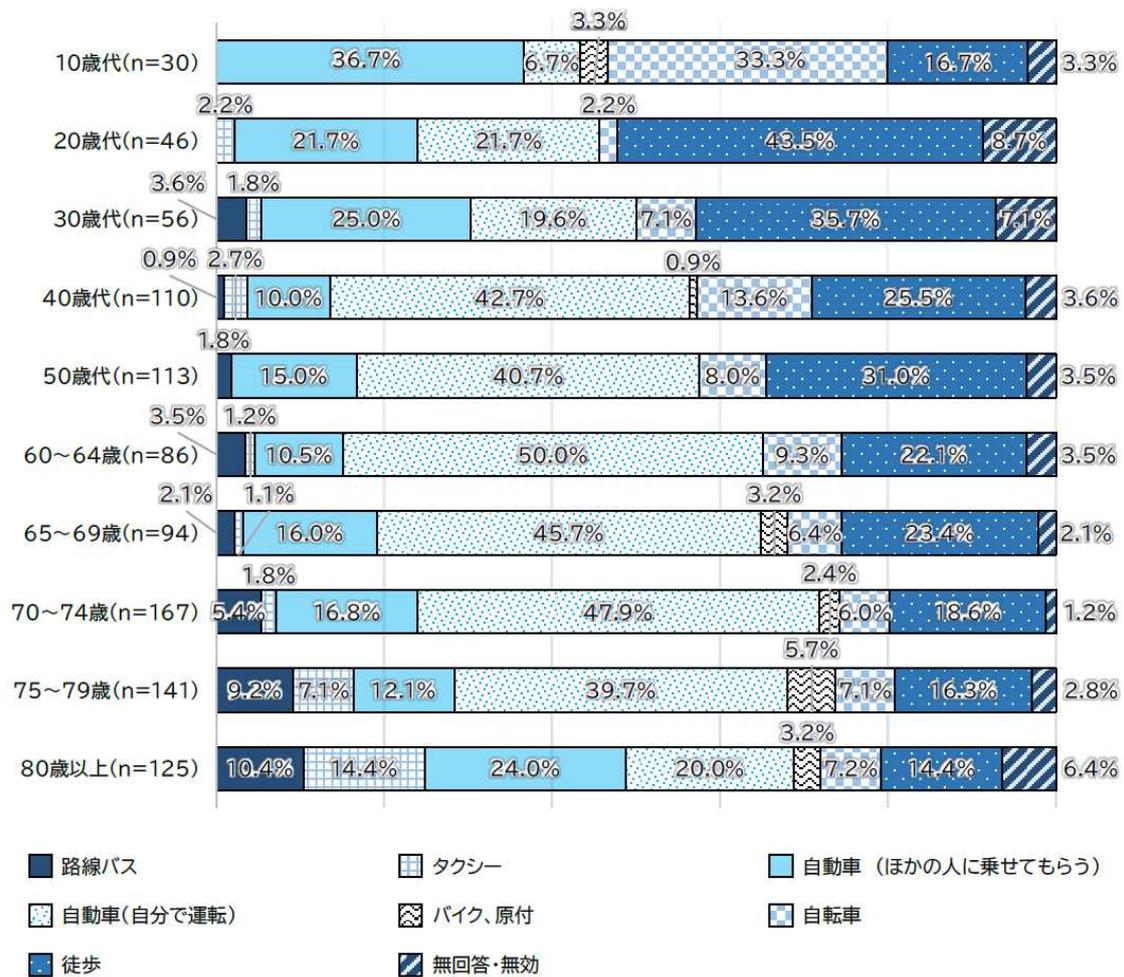
選択肢	合計	割合
自動車（自分で運転）	364	37.3%
自動車（ほかの人にさせてもらう）	163	16.7%
バイク、原付	21	2.2%
自転車	83	8.5%
徒歩	223	22.9%
タクシー	38	3.9%
路線バス	46	4.7%
無回答・無効	37	3.8%
回答数	975	100.0%



※問 16 で鉄道を利用しない人及び無回答・無効を除いた集計

□年齢別

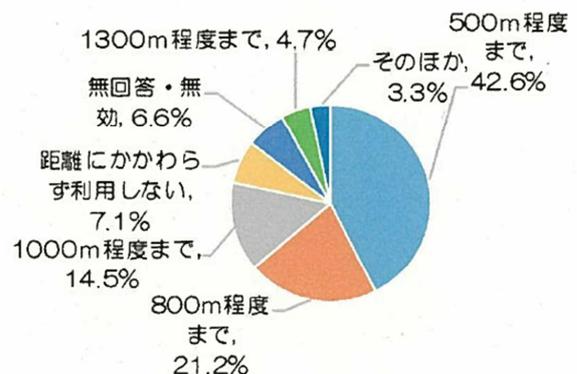
- ・市内の駅までの主な交通手段を年齢別に見ると、「路線バス」と答える割合は年齢が高くなるにしたがって高くなる傾向にあります。また、「タクシー」と答える割合も年齢が高くなるにしたがい高くなる傾向にあり、80歳以上では14.4%となっています。
- ・「自動車（ほかの人にさせてもらう）」とする回答は、10歳代や30歳代、80歳以上で比較的高くなっています。
- ・「自動車（自分で運転）」とする割合は60歳代で高くなっています。
- ・「自転車」とする割合は10歳代で高くなっています。
- ・「徒歩」とする割合は20歳代で高く、年齢が高くなるにしたがい、少なくなる傾向にあります。



問 18 自宅近くに鉄道駅がある場合、どの程度の距離なら徒歩で利用しようと思いますか。(〇は一つ)

・「500m程度まで」が 42.6%と最も多く、次いで、「800m程度まで」が 21.2%、「1000m程度まで」が 14.5%となっています。

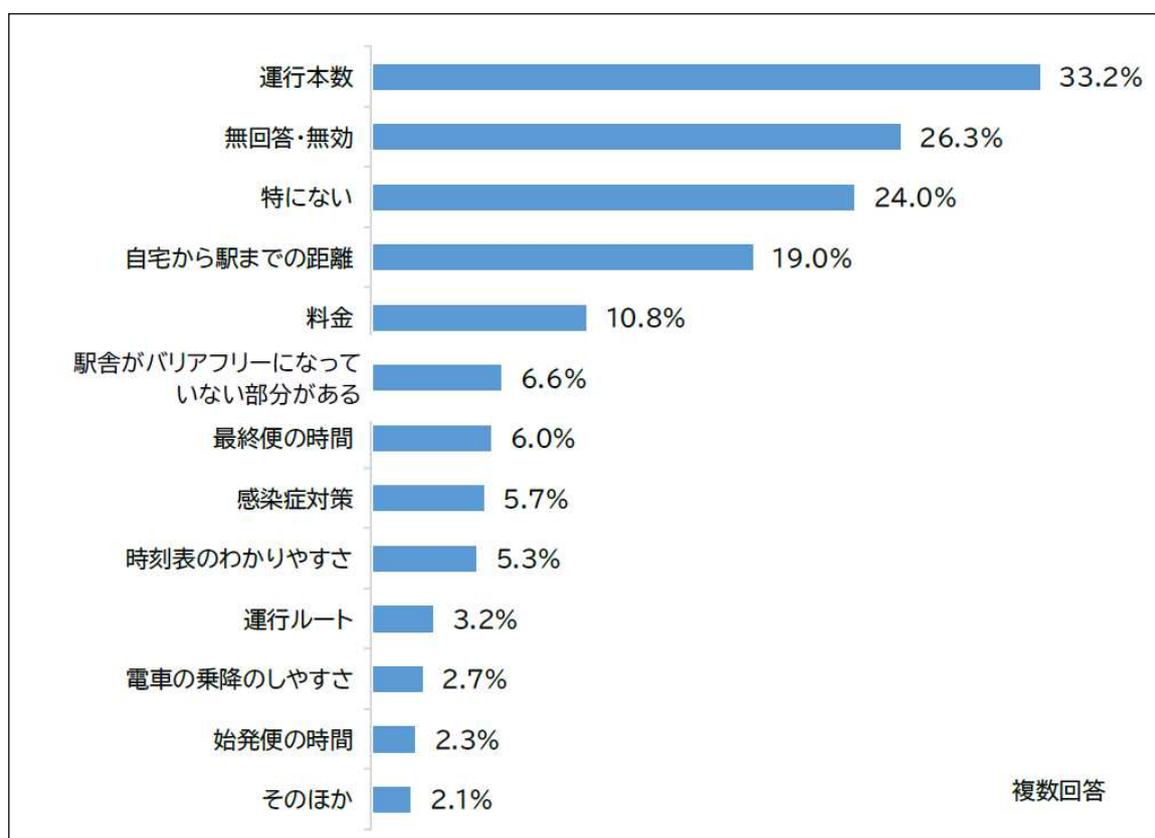
選択肢	合計	割合
500m程度まで	578	42.6%
800m程度まで	288	21.2%
1000m程度まで	197	14.5%
1300m程度まで	64	4.7%
そのほか	45	3.3%
距離にかかわらず利用しない	96	7.1%
無回答・無効	89	6.6%
回答数	1,357	100.0%



問 19 鉄道について不満に感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

・「運行本数」が33.2%と最も多く、次いで、「無回答・無効」が26.3%、「特にない」が24.0%となっています。

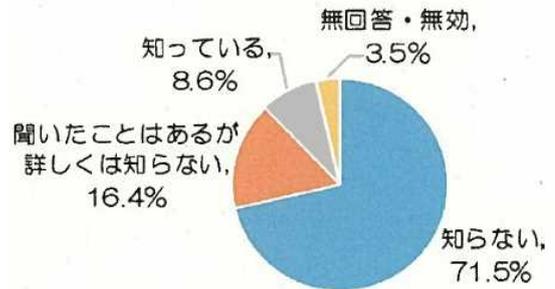
選択肢	合計	割合
運行本数	451	33.2%
運行ルート	43	3.2%
始発便の時間	31	2.3%
最終便の時間	82	6.0%
時刻表のわかりやすさ	72	5.3%
料金	146	10.8%
駅舎がバリアフリーになっていない部分がある	89	6.6%
電車の乗降のしやすさ	36	2.7%
自宅から駅までの距離(駅までの移動が大変)	258	19.0%
感染症対策	77	5.7%
特にない	326	24.0%
そのほか	28	2.1%
無回答・無効	357	26.3%
回答数	1,357	100.0%



問 20 デマンドタクシーについて知っていますか。(〇は一つ)

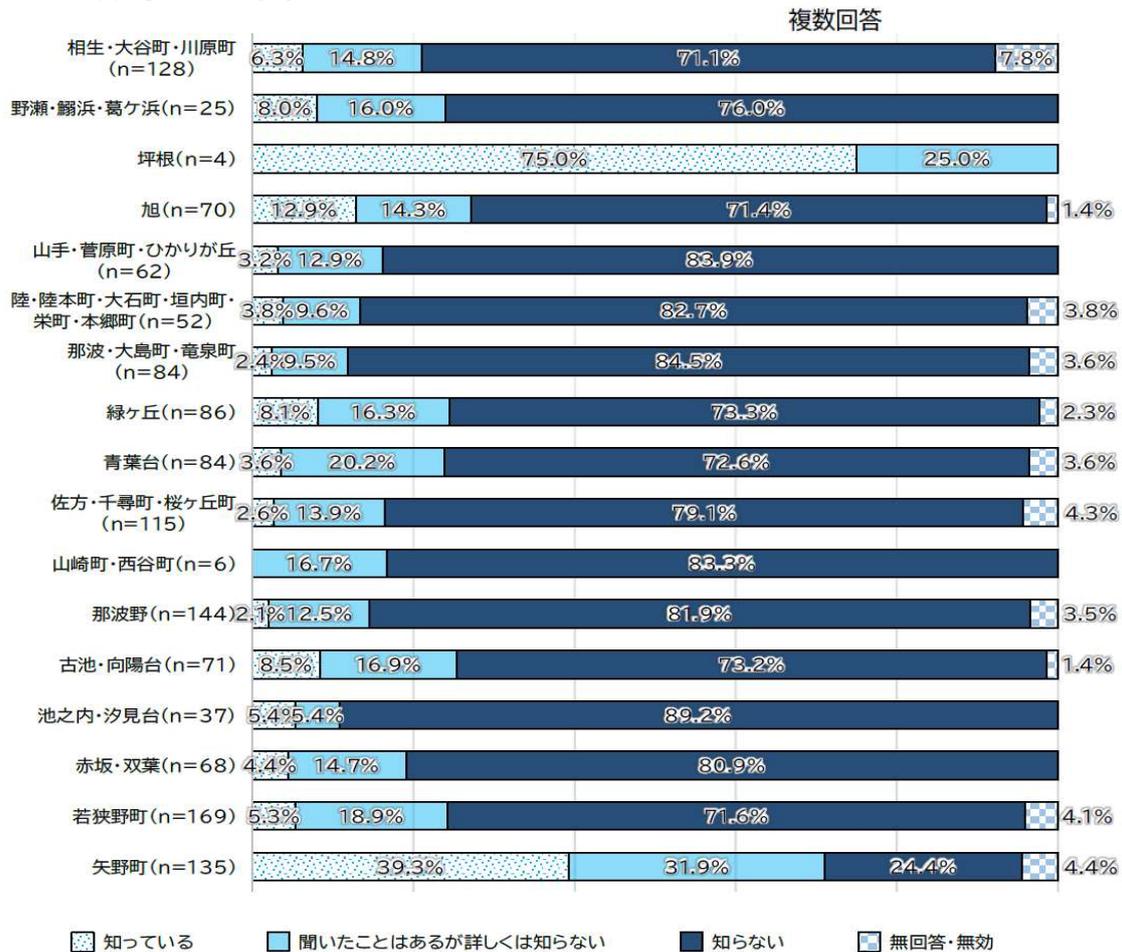
・「知らない」が71.5%と最も多く、次いで、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が16.4%、「知っている」が8.6%となっています。

選択肢	合計	割合
知っている	117	8.6%
聞いたことはあるが詳しくは知らない	222	16.4%
知らない	970	71.5%
無回答・無効	48	3.5%
回答数	1,357	100.0%



□居住地区別

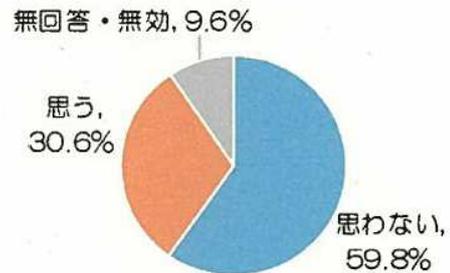
・デマンドタクシーの運行されている坪根地区、矢野町地区で「知っている」とする割合が高い傾向にあります。ただし、これらの地区でも「聞いたことはあるが詳しくは知らない」とする回答が坪根地区、矢野町地区でそれぞれ25.0%、31.9%見られます。



問 21 お住まいの地域でデマンドタクシーが運行された場合、利用してみたいと思いますか。

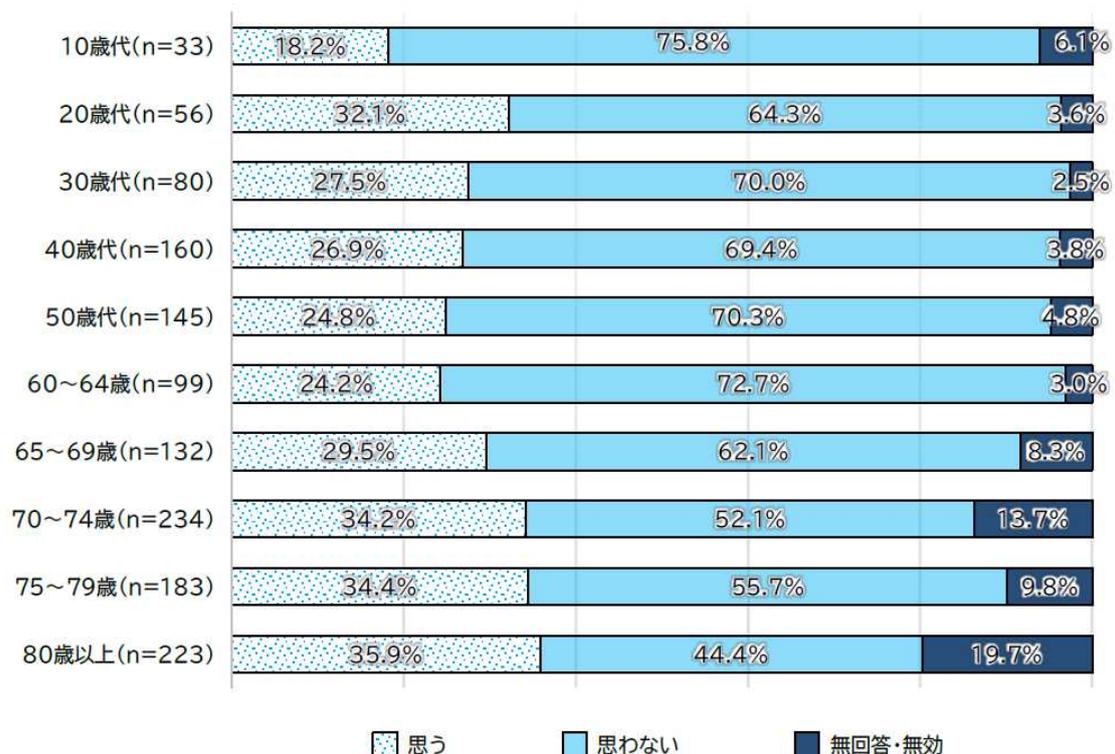
・「思わない」が 59.8%と最も多く、次いで、「思う」が 30.6%、「無回答・無効」が 9.6%となっています。

選択肢	合計	割合
思う	415	30.6%
思わない	812	59.8%
無回答・無効	130	9.6%
回答数	1,357	100.0%



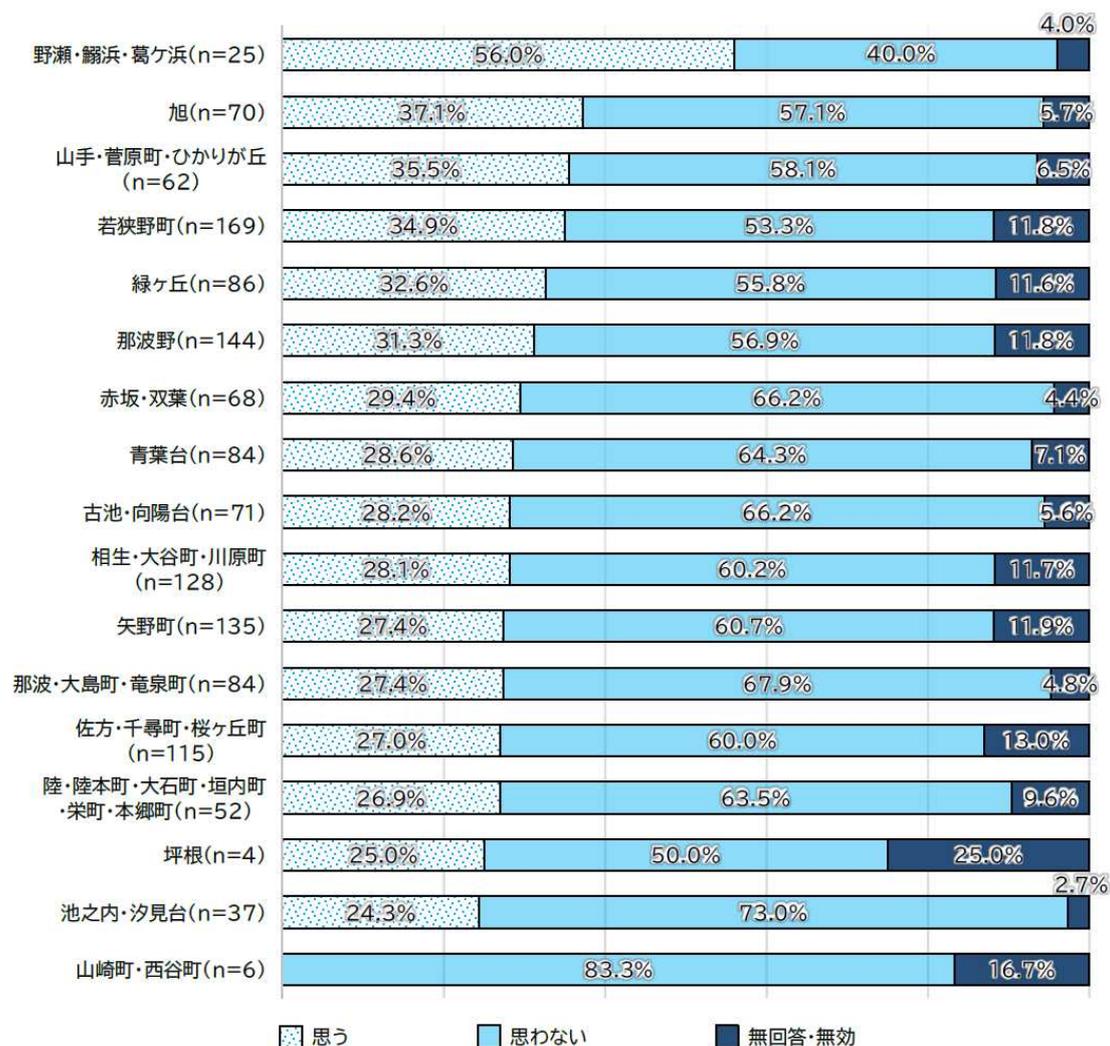
□年齢別

・年齢別にデマンドタクシーの利用意向をみると、「利用したいと思う」と答える割合は80歳以上で35.9%となっています。60歳以上では年齢が高くなるにしたがい、「利用したいと思う」とする回答が増加する傾向にあります。



□居住地区別

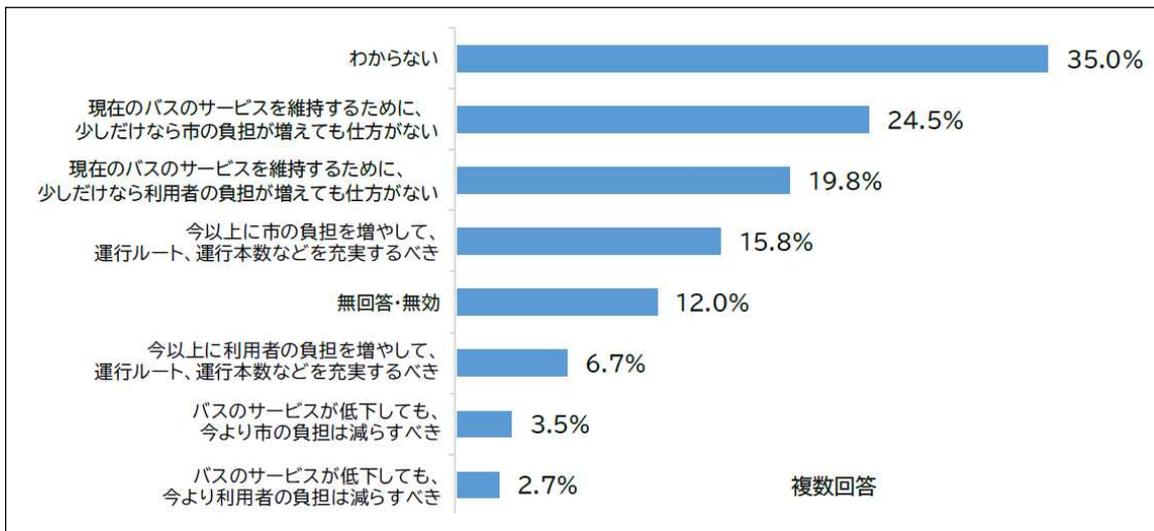
- 居住地区別にデマンドタクシーの利用意向をみると、「利用したいと思う」と答える割合は「野瀬・鰯浜・葛ヶ浜」で56.0%と、他の地区に比べて高い傾向にあります。



問 22 バス路線の維持・充実を図るための市の負担についてどのように考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・「わからない」が35.0%と最も多く、次いで、「現在のバスのサービスを維持するために、少しでも市負担が増えても仕方がない」が24.5%、「現在のバスサービスを維持するために、少しでも利用者負担が増えても仕方がない」が19.8%となっています。
- ・バスサービスの充実を求める「今以上に市の負担を増やして、バスのサービス（運行ルート、運行本数など）を充実するべき」という意見は15.8%でした。

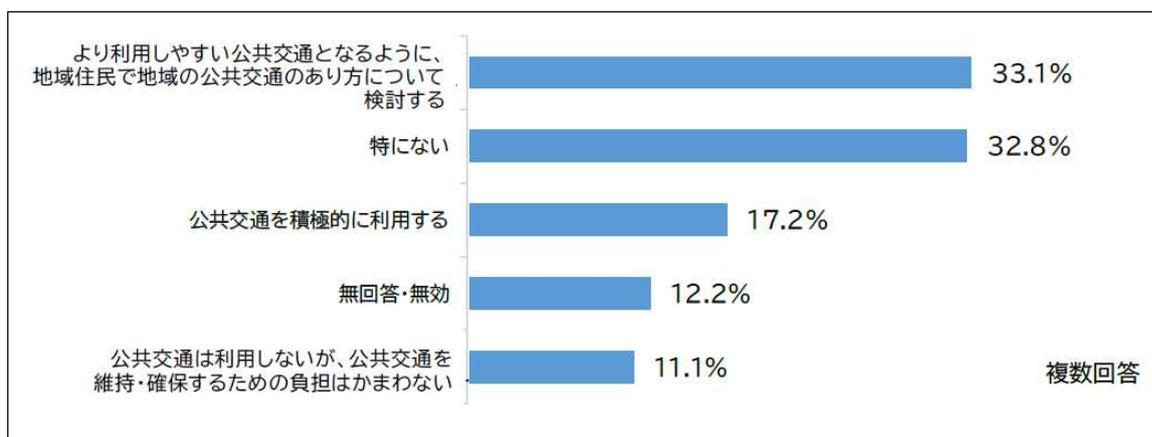
選択肢	合計	割合
今以上に市の負担を増やして、バスのサービス（運行ルート、運行本数など）を充実するべき	214	15.8%
現在のバスのサービスを維持するために、少しでも市負担が増えても仕方がない	332	24.5%
バスのサービスが低下しても、今より市の負担は減らすべき	47	3.5%
今以上に利用者の負担を増やして、バスのサービス（運行ルート、運行本数など）を充実するべき	91	6.7%
現在のバスサービスを維持するために、少しでも利用者負担が増えても仕方がない	269	19.8%
バスのサービスが低下しても、今より利用者の負担は減らすべき	37	2.7%
わからない	475	35.0%
無回答・無効	163	12.0%
回答数	1,357	100.0%



問 23 地域の公共交通を維持・充実を図るために、あなた自身あるいは地域で何か取り組みそうなことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

・「より利用しやすい公共交通となるように、地域住民で地域の公共交通のあり方について検討する」が33.1%と最も多く、次いで、「特にない」が32.8%、「公共交通を積極的に利用する」が17.2%となっています。

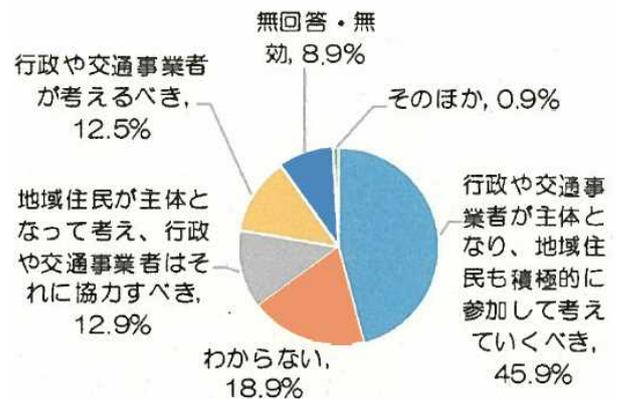
選択肢	合計	割合
公共交通を積極的に利用する	233	17.2%
公共交通は利用しないが、公共交通を維持・確保するための負担はかまわない	150	11.1%
より利用しやすい公共交通となるように、地域住民で地域の公共交通のあり方について検討する	449	33.1%
特にない	445	32.8%
無回答・無効	165	12.2%
回答数	1,357	100.0%



問 24 今後、地域の公共交通のあり方について、誰が主体となって考えていくべきだと思いますか。(〇は一つ)

- ・「行政や交通事業者が主体となり、地域住民も積極的に参加して考えていくべき」が45.9%と最も多く、次いで、「わからない」が18.9%、「地域住民が主体となって考え、行政や交通事業者はそれに協力すべき」が12.9%となっています。

選択肢	合計	割合
行政や交通事業者が考えるべき	170	12.5%
行政や交通事業者が主体となり、地域住民も積極的に参加して考えていくべき	623	45.9%
地域住民が主体となって考え、行政や交通事業者はそれに協力すべき	175	12.9%
わからない	256	18.9%
そのほか	12	0.9%
無回答・無効	121	8.9%
回答数	1,357	100.0%



問 25 市内公共交通に関する対するお考えを自由にお書きください。

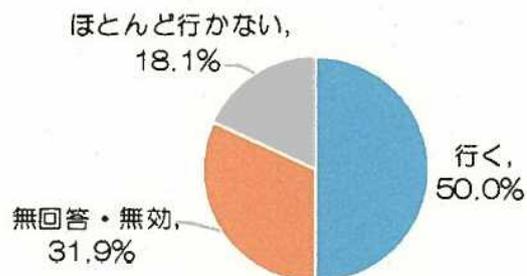
- ・路線バスについては、運行本数の増便や運賃の値下げに関する要望が多く見受けられます。また、現在の大型バスから小型バスへの切り替えを行い、コミュニティバスのような運行を希望する意見もあります。
- ・鉄道については、増便を行うことで広域移動の維持・確保をしてもらいたいとの意見が多くあります。
- ・公共交通を特に必要としている高齢者世代はもちろん、現在は車を運転している世代も将来への不安から公共交通の維持・確保を求める意見が多く見受けられます。

問 26 通勤・通学先について

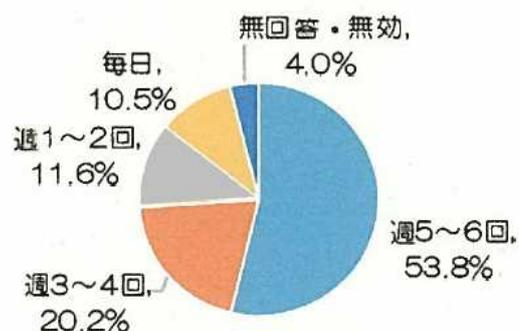
① 通勤・通学先への外出回数、頻度

・「行く」が50.0%と最も多く、次いで、「無回答・無効」が31.9%、「ほとんど行かない」が18.1%となっています。また、通勤・通学の頻度は、「週5～6回」が53.8%と最も多く、次いで、「週3～4回」が20.2%、「週1～2回」が11.6%となっています。

選択肢	合計	割合
ほとんど行かない	245	18.1%
行く	679	50.0%
無回答・無効	433	31.9%
回答数	1,357	100.0%

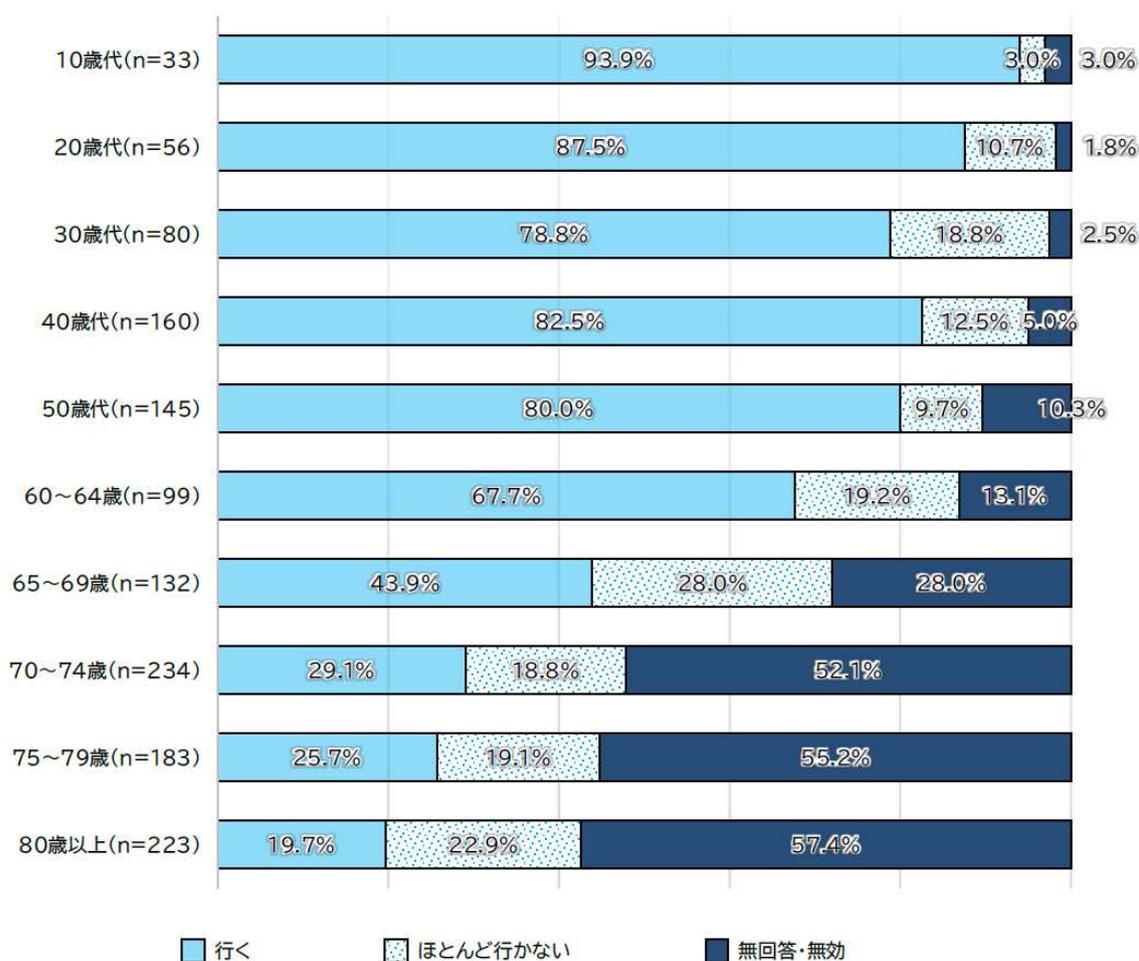


選択肢	合計	割合
週1～2回	79	11.6%
週3～4回	137	20.2%
週5～6回	365	53.8%
毎日	71	10.5%
無回答・無効	27	4.0%
回答数	679	100.0%



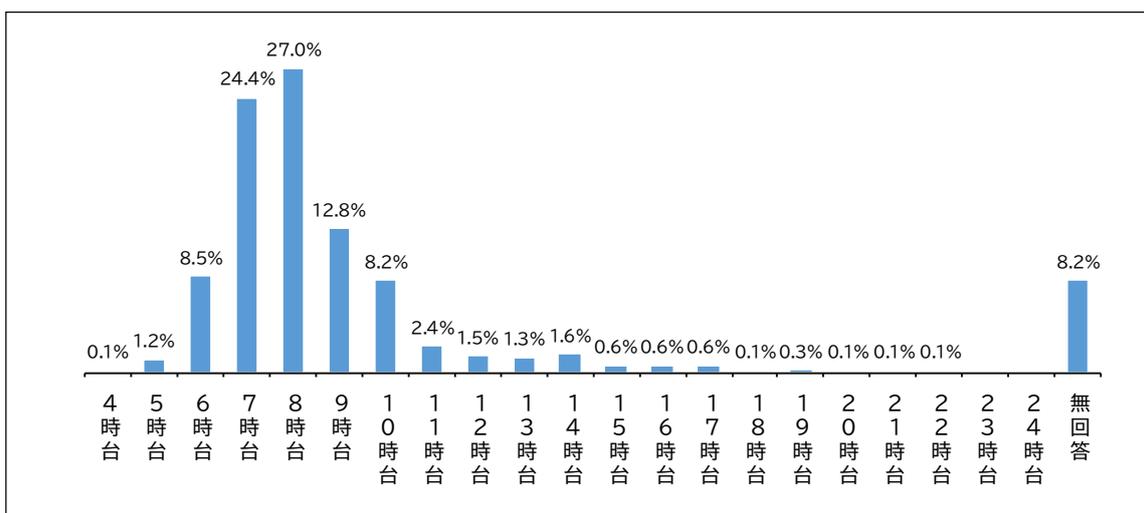
□年齢別

- 通勤、通学の状況を年齢別にみると、10歳代、20歳代では9割前後、20歳代～50歳代では8割程度が「行く」と答えています。
- 60歳以上では、年齢が上昇するにしたがい「行く」の割合が低くなるものの、80歳以上でも2割程度が「行く」と答えています。



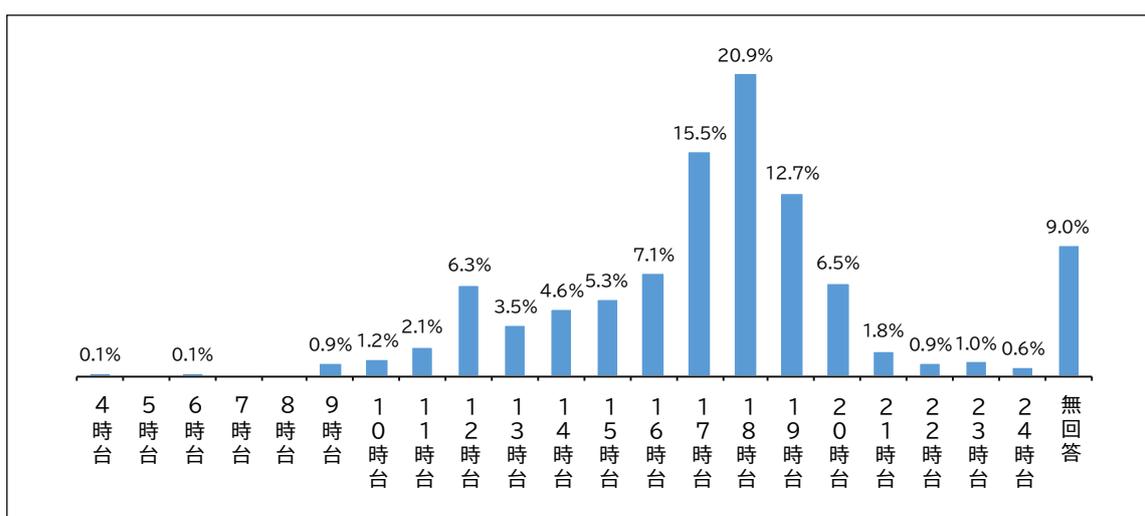
問 26 通勤・通学先について 問①で「行く」と答えた方
② 外出の時間帯【行き】

- 通勤、通学に出かける時間帯は、8 時台と答える割合が最も多く、次いで 7 時台となっています。



問 26 通勤・通学先について 問①で「2. 行く」と答えた方
② 外出の時間帯【帰り】

- 通勤、通学先から帰宅する時間帯は、18 時台と答える割合が最も多く、次いで 17 時台となっています。



問 26 通勤・通学先について 問①で「行く」と答えた方
③通勤・通学先をお答えください（〇は1つ）

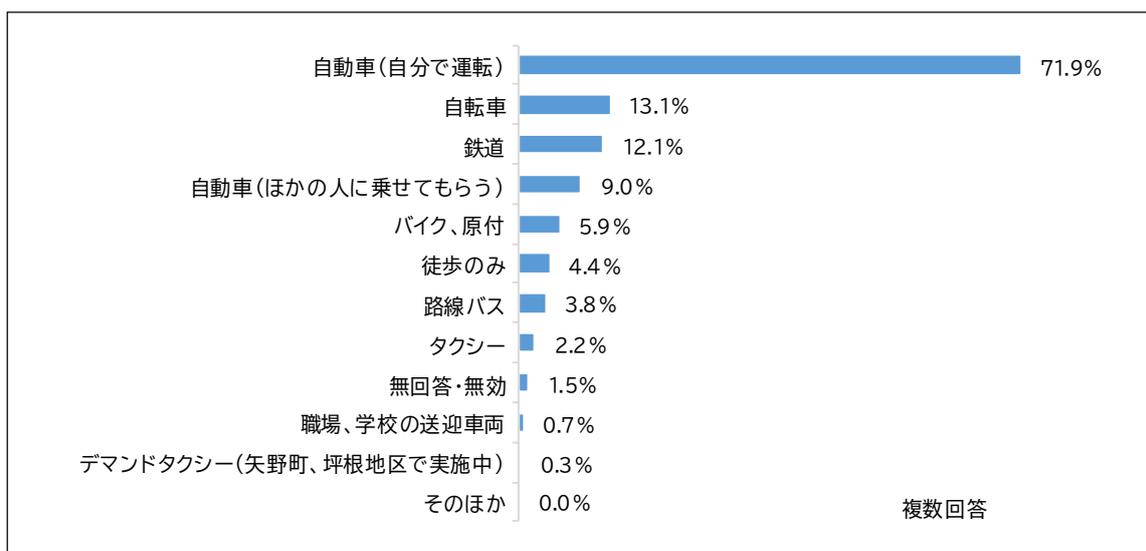
・「相生市内（住まいと異なる地区）」が34.3%と最も多く、次いで、「姫路市」が13.7%、「たつの市」が10.9%となっています。

選択肢	合計	割合
住まいと同じ地区内の職場や学校	66	9.7%
相生市内（住まいと異なる地区）	233	34.3%
赤穂市	47	6.9%
たつの市	74	10.9%
上郡町	20	2.9%
佐用町	5	0.7%
太子町	11	1.6%
姫路市	93	13.7%
そのほか	63	9.3%
無回答・無効	67	9.9%
回答数	679	100.0%



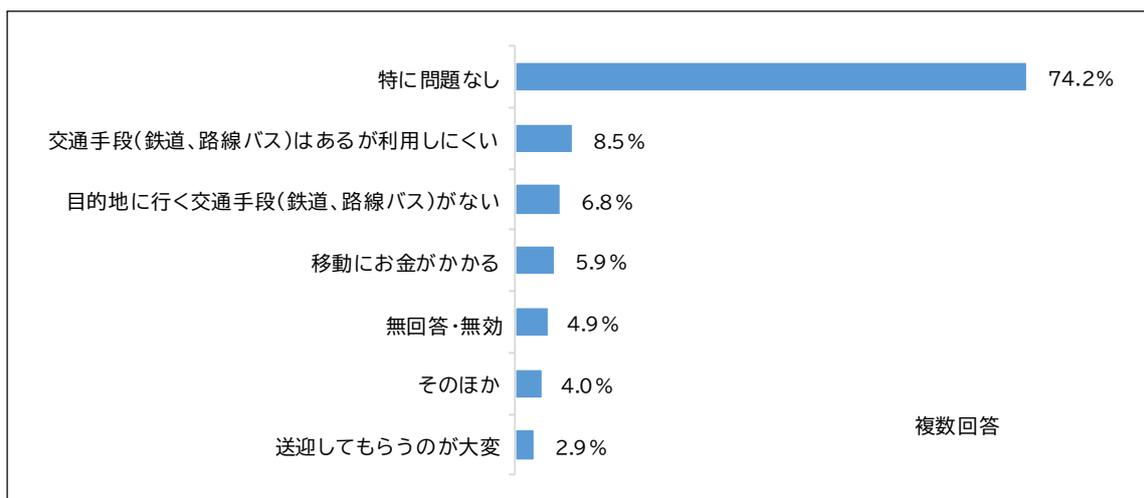
問 26 通勤・通学先について 問①で「行く」と答えた方
④主として使う交通手段をお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

・「自動車（自分で運転）」が最も多く、71.9%となっています。次いで、自転車の13.1%、鉄道の12.1%となっています。また、9.0%の人がほかの人にさせてもらい通勤・通学を行っています。



問 26 通勤・通学先について 問①で「行く」と答えた方
 ⑤移動するときに問題（お困りの点）はありますか（あてはまるものすべてに○）

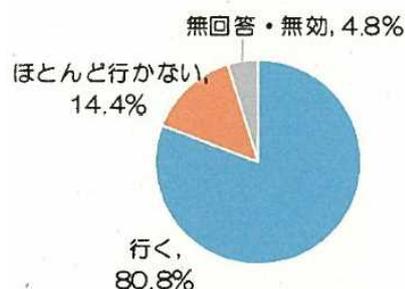
・「特に問題なし」が74.2%と最も多く、次いで、「交通手段（鉄道、路線バス）はあるが利用しにくい」が8.5%、「目的地に行く交通手段（鉄道、路線バス）がない」が6.8%となっています。



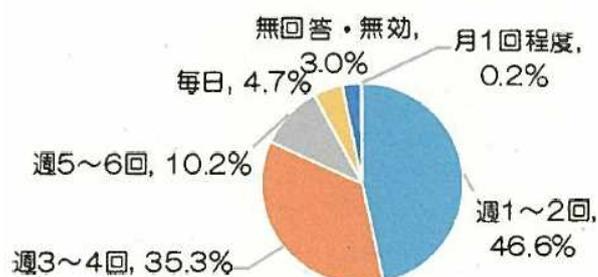
問 27 買い物先について
 ① よく行く買い物先への外出回数

・「行く」が80.8%と最も多く、次いで、「ほとんど行かない」が14.4%、「無回答・無効」が4.8%となっています。また、買い物の頻度は「週1～2回」が46.6%と最も多く、次いで、「週3～4回」が35.3%、「週5～6回」が10.2%となっています。

選択肢	合計	割合
ほとんど行かない	195	14.4%
行く	1,097	80.8%
無回答・無効	65	4.8%
回答数	1,357	100.0%

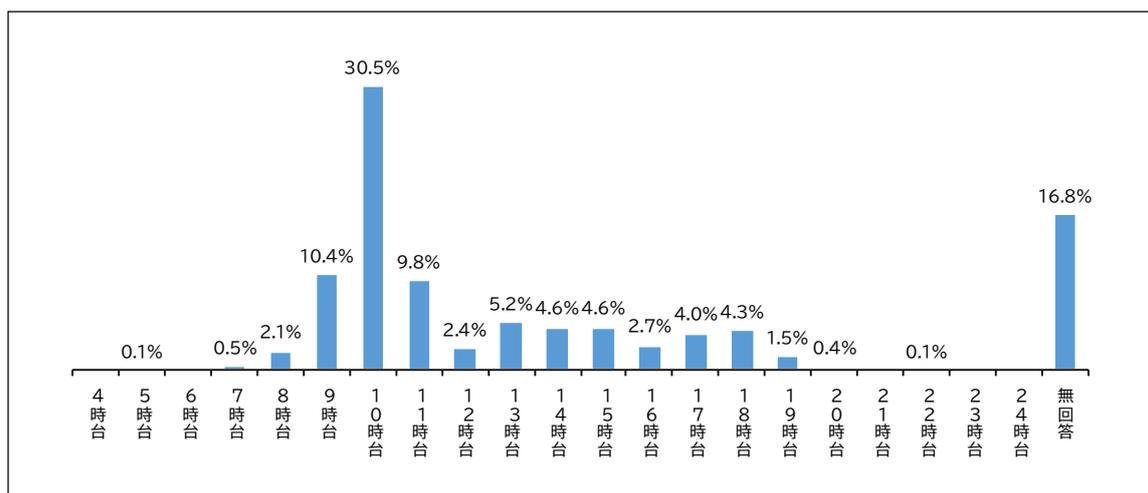


選択肢	合計	割合
月1回程度	2	0.2%
週1～2回	511	46.6%
週3～4回	387	35.3%
週5～6回	112	10.2%
毎日	52	4.7%
無回答・無効	33	3.0%
回答数	1,097	100.0%



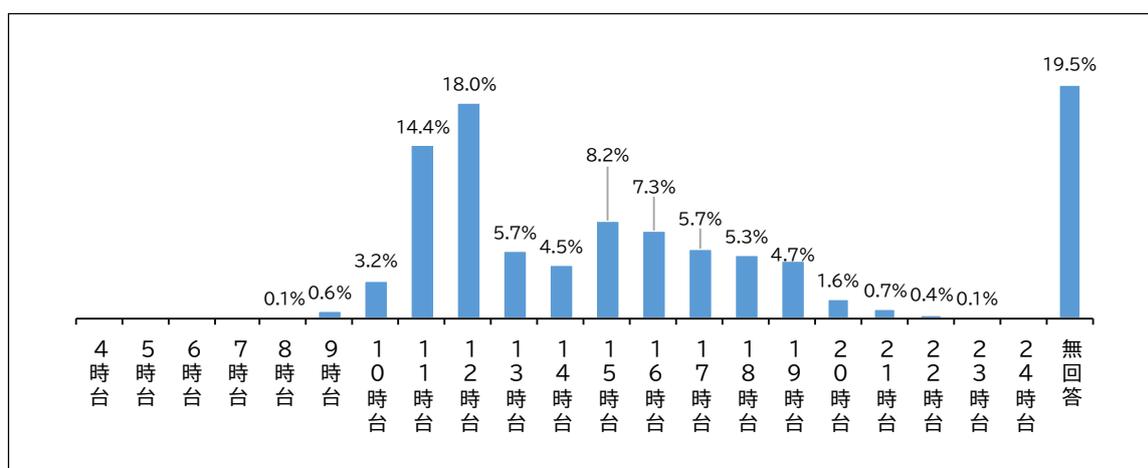
問 27 買い物先について 問①で「行く」と答えた方
② 外出の時間帯【行き】

- 買い物に出かける時間帯は、10 時台と答える割合が最も多く、次いで 9 時台、11 時台となっています。



問 27 買い物先について 問①で「行く」と答えた方
② 外出の時間帯【帰り】

- 買い物から帰る時間帯は、12 時台と答える割合が最も多く、次いで 11 時台となっています。



問 27 買い物先について 問①で「行く」と答えた方
 ③ よく行く買い物先をお答えください（〇は1つ）

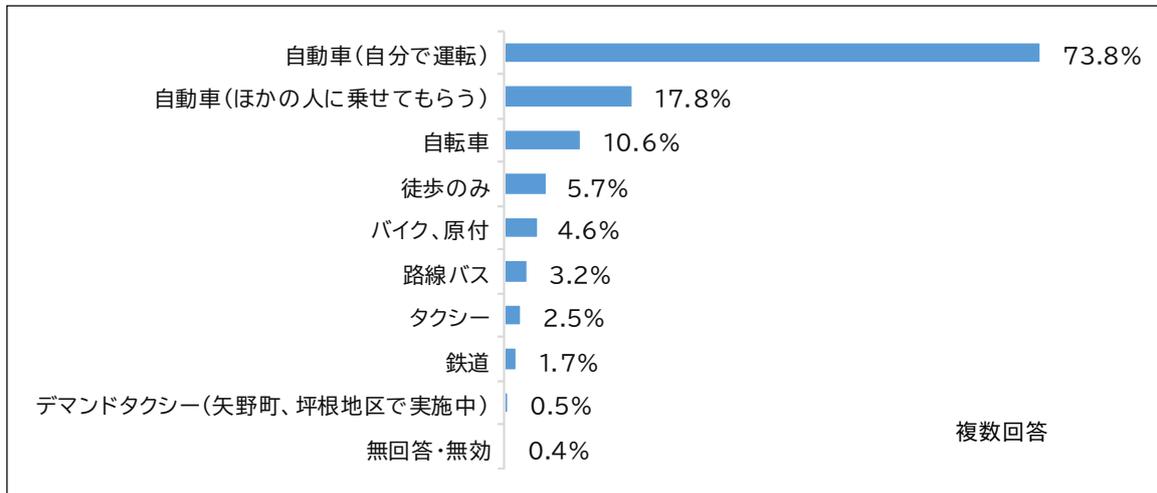
・「マックスバリュ相生南」が31.4%と最も多く、次いで、「コープデイズ相生」が17.6%、「無回答・無効」が16.9%となっています。

選択肢	合計	割合
コープデイズ相生	193	17.6%
マックスバリュ相生南	344	31.4%
ラ・ムー	63	5.7%
カワベ	170	15.5%
その他（上郡町内）	18	1.6%
その他（赤穂市内）	22	2.0%
その他（上郡、赤穂以外）	102	9.3%
無回答・無効	185	16.9%
回答数	1,097	100.0%



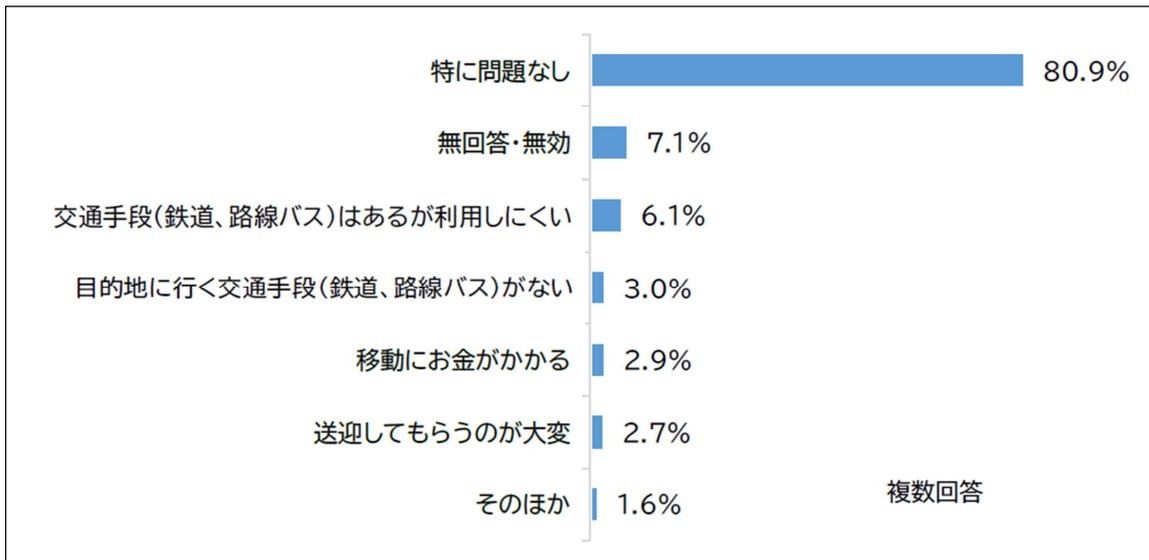
問 27 買い物先について 問①で「行く」と答えた方
 ④主として使う交通手段をお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

・「自動車（自分で運転）」が73.8%と最も多く、次いで、「自動車（ほかの人に乘せてもらう）」17.8%、「自転車」が10.6%となっています。



問 27 買い物先について 問①で「行く」と答えた方
 ⑤移動するときに問題（お困りの点）はありますか（あてはまるものすべてに〇）

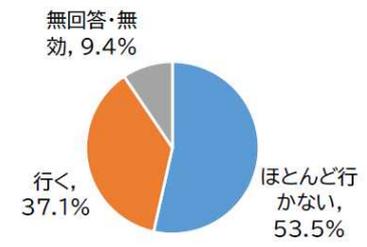
・「特に問題なし」が80.9%と最も多く、次いで、「無回答・無効」が7.1%、「交通手段（鉄道、路線バス）はあるが利用しにくい」が6.1%となっています。



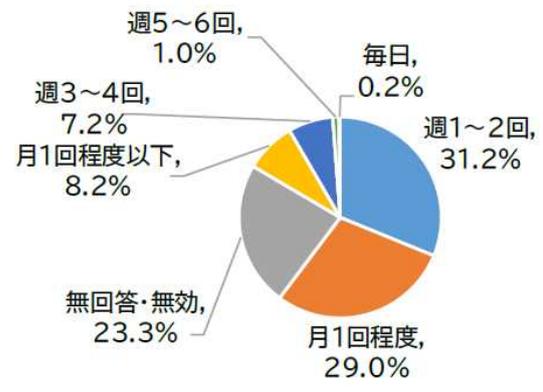
問 28 よく行く通院先について
① よく行く通院先への外出回数

・「ほとんど行かない」が 53.5%と最も多く、次いで、「行く」が 37.1%、「無回答・無効」が 9.4%となっています。また、週 1～2 回が 31.2%と最も多く、次いで、月 1 回程度が 29.0%、無回答・無効が 23.1%となっています。

選択肢	合計	割合
ほとんど行かない	726	53.5%
行く	503	37.1%
無回答・無効	128	9.4%
回答数	1,357	100.0%

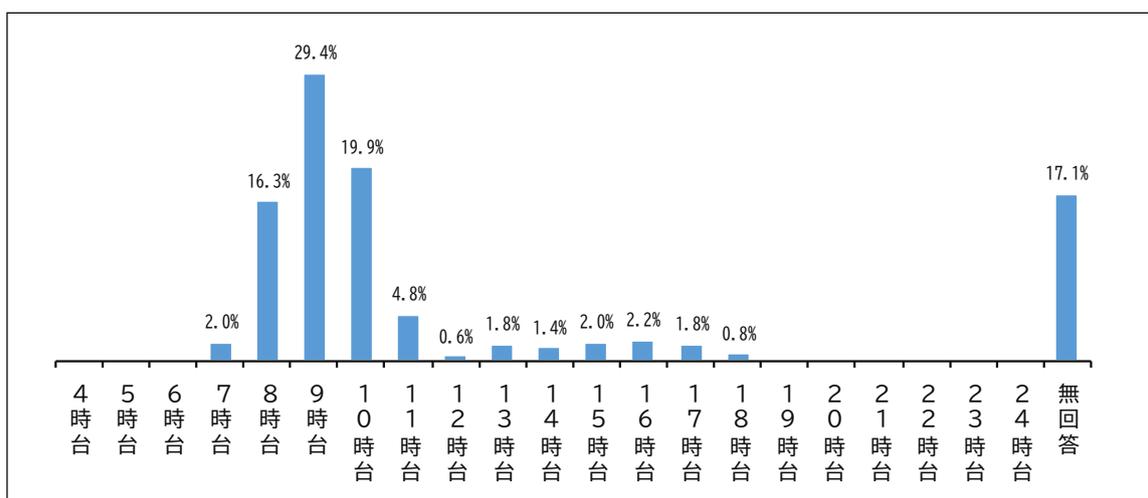


選択肢	合計	割合
月1回程度以下	41	8.2%
月1回程度	146	29.0%
週1～2回	157	31.2%
週3～4回	36	7.2%
週5～6回	5	1.0%
毎日	1	0.2%
無回答・無効	117	23.3%
回答数	503	100.0%



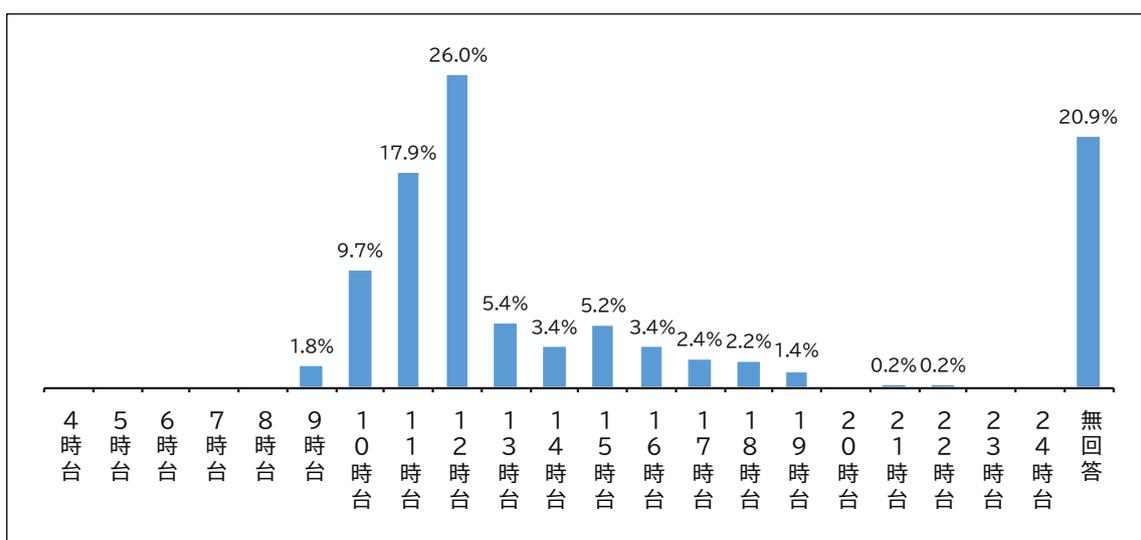
問 28 よく行く通院先について 問①で「行く」と答えた方
 ② 外出の時間帯【行き】

- 通院に出かける時間帯は、9 時台と答える割合が最も多く、次いで 10 時台、8 時台となっています。



問 28 よく行く通院先について 問①で「行く」と答えた方
 ② 外出の時間帯【帰り】

- 通院から帰宅する時間帯は、12 時台と答える割合が最も多く、次いで 11 時台となっています。



問 28 よく行く通院先について 問①で「行く」と答えた方

③ よく行く病院名をお答えください（〇は1つ）

- そのほか41.0%と最も多く、次いで、IHI 播磨病院が31.6%、相生市民病院が6.8%となっています。
- そのほかの割合では、市内の各医院やクリニックが多く、半数近くを占めており、次いで、赤穂市が高い割合となっています。

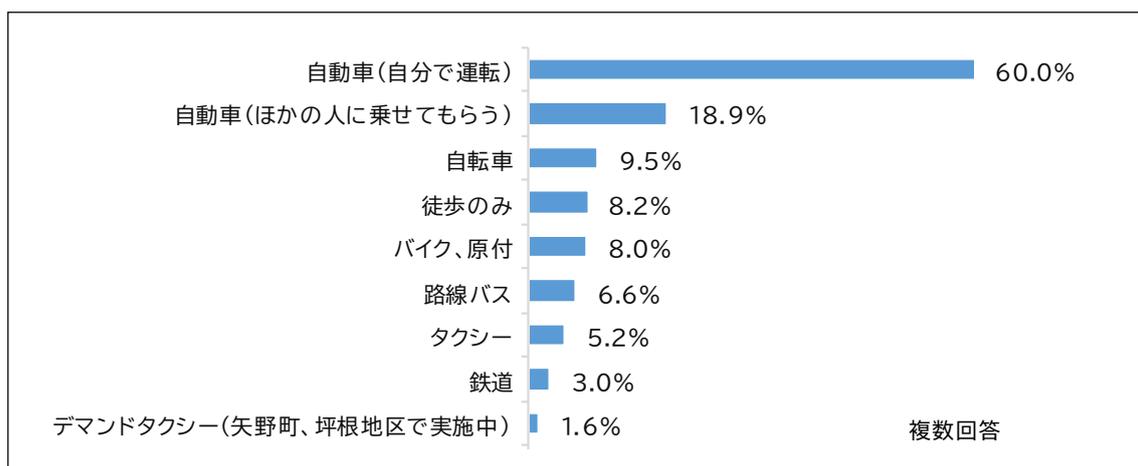
選択肢	合計	割合
IHI播磨病院	159	31.6%
相生市民病院	34	6.8%
魚橋病院	21	4.2%
半田中央病院	30	6.0%
赤穂市民病院	25	5.0%
そのほか	206	41.0%
無回答・無効	28	5.6%
回答数	503	100.0%



問 28 よく行く通院先について 問①で「行く」と答えた方

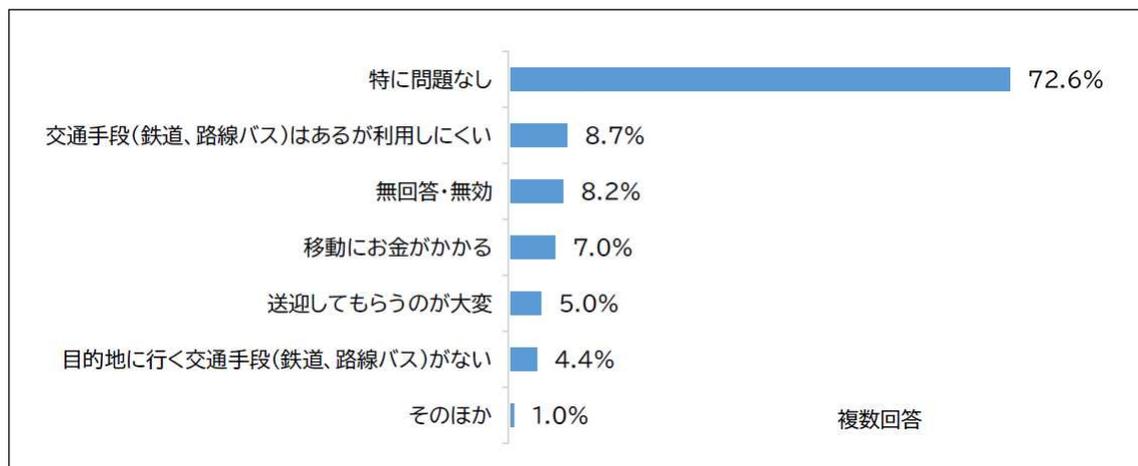
④主として使う交通手段をお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

- 「自動車（自分で運転）」が60.0%と最も多く、次いで、「自動車（ほかの人に乘せてもらう）」が18.9%、「自転車」が9.5%となっています。



問 28 よく行く通院先について 問①で「行く」と答えた方
⑤移動するときに問題（お困りの点）はありますか（あてはまるものすべてに○）

・「特に問題なし」が72.6%と最も多く、次いで、「交通手段（鉄道、路線バス）はあるが利用しにくい」が8.7%、「無回答・無効」が8.2%となっています。



3-9 地域公共交通に関わる現状と課題

本市の現状や市民の移動実態、ニーズの把握などを分析すると、現在及び10年後を想定した時の本市の公共交通の課題は以下のように整理されます。

課題1 人口減少、少子高齢化の進行

- 人口減少による公共交通利用者の減少のおそれがある。
- 少子高齢化による市民の外出減少に伴う公共交通離れの可能性がある。

課題2 公共交通不便地域、交通弱者の増加

- 人口減少や少子高齢化によるバス路線の休廃止やバス停の削減などの発生により、公共交通不便地域が拡大する可能性がある。
- 矢野地区、坪根地区においてデマンドタクシー^{※4}の運行を実施しているが、公共交通不便地域の増大に伴い、それ以外の公共交通不便地域に居住している市民や高齢者を対象とした外出支援施策の実施が必要である。
- 公共交通不便地域や高齢化率が高い地域が郊外部に多く見受けられるため、そのような地域に居住する市民が経済的また身体的な負担が無く市中心部へ移動できるよう、デマンド交通^{※5}を浸透させることで外出方法の維持・確保を行うことが重要である。

※4 当市で運行しているデマンドタクシーは事前予約を行うことにより、自宅から最寄りの指定バス停までを運行する形態（ドア・ツー・ドアでの対応は出来ない）。

※5 デマンド交通は利用者の予約に応じて運行経路や運行スケジュールをそれに合わせて運行する形態（ドア・ツー・ドアを含んだ対応が可能）。

課題3 持続的な公共交通網の維持

- 赤字路線数や赤字額などを勘案して適切な財政支援を継続して行うことにより、持続的な公共交通網を維持し、利用しやすい交通ネットワークを形成する必要がある。
- バスをはじめとした公共交通機関の運転手の高齢化やなり手不足などにより、物理的な運行が困難になり、公共交通網の維持が困難になっている。

課題 4

自動車運転免許保有者の減少、自動車運転免許返納者の増加、高齢者の自動車運転免許保有数の増加

- 自動車運転免許保有者の減少や自動車運転免許返納者の増加により、公共交通の必要性を感じる人は多いが、運行本数や運賃等により利用しづらいという意見がある。
- 現在、車を運転している人は外出することに不便を感じていないが、自動車運転免許返納後などに不便になると予想している人が多い。
- 高齢者の自動車運転免許返納者は年々増加しているが、80歳以上でも自身で運転を行っているなど高齢ドライバーが増加している。
- 高齢者が第1当事者となる事故も増加していることから、高齢者が自動車運転免許返納後も安心して利用できる交通環境の推進を行う必要がある。
- 自動車運転免許返納者が免許返納後に移動が困難とならないよう、買い物や通院の機会を維持するためにタクシーや電動自転車などの活用することにより路線バスのみでは移動がしにくい高齢者や地域の外出機会の創出を図る必要がある。

課題 5

市民の暮らしとニーズに合った公共交通の整備

- 市外へ通勤、通学をしている人が半数以上いるため、鉄道と路線バスの乗り継ぎの利便性を向上する必要がある。
- 買い物や通院では市内の施設を利用する人が多数であるため、そのような利用者の利便性向上のため、路線バスの運行ダイヤをニーズに即したものに検討する必要がある。
- 路線バスの停留所にベンチや屋根を設置するなど待合スペースの改善を図る必要がある。

課題 6

時刻表や路線図などの利便性の向上

- 鉄道やバスの時刻表や路線図などが分かりづらく、乗り換えを行う際に不便という意見がある。そのため、鉄道、路線バス及びタクシーの時刻表、路線図、運賃や利用に関する情報などを総合的に記載した総合時刻表やハンドブックを作成することで、利用者の利便性を向上させる必要がある。

課題 7 公共交通に係る意識啓発

- 公共交通に関する情報に触れる機会が少なく、公共交通を利用したくても利用しづらいと考える人も一定数いる。
- 相生市 HP や広報紙にて公共交通に関する情報発信を積極的に行うことで、公共交通への意識啓発を行う必要がある。
- 鉄道や路線バスを利用したイベントや市内観光名所との連携による観光促進を実施することにより、観光振興などによる地域活性化を実施する必要がある。